

平成20年 7月25日

各 位

国土交通省 総合政策局
建設施工企画課 課長補佐

リコール届け出に伴う建設機械の事故防止について

日頃より、国土交通行政に御理解を賜り誠にありがとうございます。

標記について、国土交通省では建設機械等における安全施工の観点より、建設機械に関するリコール届け出について、建設工事の施工者へ周知するため、本資料を送付しております。

つきましては、建設作業現場においても建設機械等の使用に際しては十分に注意し、事故防止に配慮して頂きたいようお願い申し上げます。

なお、本件に関してご質問等ございましたら、誠にお手数ですが下記問い合わせ先までご連絡下さい。

宜しくお願い致します。

<問い合わせ先>

国土交通省 総合政策局

建設施工企画課 施工調査係 矢野・松川

〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3

TEL 03-5253-8286 (直通) FAX 03-5253-1556

国総施第53号
国総建第111号
国総建振第69号
平成20年7月25日

社団法人
日本建設機械化協会 会長 殿

国土交通省総合政策局 建設施工企画課長



国土交通省総合政策局 建設業課長



国土交通省総合政策局 建設市場整備課長



リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について

今般、国土交通省に対し、下記のリコールの届出がなされたところであるが、建設作業現場における当該建設機械の使用に際しては、事故防止の観点から貴団体傘下の会員各社に対し周知されたい。

記

- | | |
|-----------|--------|
| 1. 届出日 | 別紙のとおり |
| 2. 届出者 | 〃 |
| 3. 建設機械名 | 〃 |
| 4. 通称名 | 〃 |
| 5. 型式 | 〃 |
| 6. 不具合の部位 | 〃 |
| 7. 内容 | 〃 |

※国土交通省のホームページに「リコール・改善対策の届け出」があったものを掲載しております。
アドレスは下記のとおりです。

国土交通省自動車交通局関係 http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall108/recall_.html

環境省水・大気環境局関係 http://www.env.go.jp/air/car/tokutei_law/kaizen.html

建設機械に係わるリコール届出一覧 (期間:平成20年4月~6月分)

※国土交通省自動車交通関係

番号	届出日	届出者	建設機械名	通称名	型式	不具合の部位	リコール対象台数
1	平成20年4月10日	株式会社タダノ	クレーン用台車	RTF120-5	不明	走行装置(スピンドル)	110台
2	平成20年4月10日	株式会社小松製作所	グレーダ	GD755-3,GH320-3	SD-GD020A	その他(かじ取り)	21台
3	平成20年4月14日	TCM株式会社	ショベル・ローダ	ZW220,ZW250,ZW310	SD-S56,SD-S56F,JDS-S56, JDS-S56F,SD-S57,SD-S57F, JDS-S57,JDS-S57F,SD-S58, SD-S58F,JDS-S58,JDS-S58F, SD-S56,SD-S56F,JDS-S56, JDS-S56F,SD-S57,SD-S57F, JDS-S57	燃料タンク	50台
4	平成20年4月18日	コベルコ建機株式会社	ショベル・ローダ	SK100W,SK125W	YE1,YE2,YE02,YE04	①動力伝達装置(走行用油圧配管) ②動力伝達装置(走行用油圧ホース) ③制動装置(ブレーキ用エアホース) ④動力伝達装置(走行用油圧ホース) ⑤電気配線	639台
5	平成20年4月22日	日立建機株式会社	ショベル・ローダ	LX70-5,LX80-5,LX70-7,LX80-7, LX110-7,LX130-7,LX160-7, LX190-7,LX230-7,EX125WD-5, ZX125W,ZX160W,ZX210W	L705,L805,HS50,HS50F,SB-HS50, SB-HS50F,HS51,HS51F,SC-HS51, SC-HS51F,HS26,HS26F,SC-HS26, SC-HS26F,HS32,HS32F,SD-HS32, SD-HS32F,HS33,HS33F,SD-HS33, SD-HS33F,HS34,HS34F,SD-HS34, SD-HS34F,125W,SC-125W,CBB, SC-CBB,CDB,SC-CDB	作業灯点灯状態確認装置	2,966台
6	平成20年4月22日	日立建機株式会社	ショベル・ローダ	LX100-5,LX120-5,LX150-5,LX230-5	L100H,L120H,L150H,L230H	作業灯点灯状態確認装置	149台
7	平成20年4月22日	日立建機株式会社	ショベル・ローダ	ZX125W,ZX160W,ZX210W	SC-125W,SC-CBB,SC-CDB	前照灯	68台
8	平成20年6月4日	コマツユーティリティ株式会社	ショベル・ローダ	WA20-2E,WA30-5,WA40-3,WA50-3	WA001AU,SA-WA003AU, SA-WA005AU,SA-WA007AU, SA-WA005U,SA-WA007U	燃料装置(燃料タンク水抜き弁)	341台
9	平成20年6月4日	コマツユーティリティ株式会社	フォークリフト	-	ZAF-SM236,ZAF-SM237	コンピュータ(電動機)	3台
10	平成20年6月4日	コマツユーティリティ株式会社	ショベル・ローダ	WA20-2E,WA30-5,WA40-3,WA50-3	WA001A,WA001AU,SA-WA003A, SA-WA003AU,SA-WA005W, SA-WA005AU,SA-WA007A, SA-WA007AU,SA-WA005U, SA-WA007U	装置その他	41台

11	平成20年6月6日	TCM株式会社	シヨベル・ローダ	ZW20LX70	JDS-S56,JDS-HS56,HS50	窓ガラス	17台
12	平成20年6月6日	株式会社加藤製作所	クレーン用台車	かウKR-10H型ラフター、 かウKRM-13HM型ラフター、 かウKR-20H型ラフター、 かウKR-22H型ラフター、 かウKRM-25H型ラフター、 かウKR-35H型ラフター、 かウKR-50H型ラフター、 かウKR-65H型ラフター、 かウKR-70H型ラフター	KR100,KR101,KR102,SC-KR130, SD-KRC001,KR203,KR205,KR248, SD-KR248,KR257,KR258, SD-KR258,KR353,KR452,KR500, KR511,KR512,SD-KR512, SD-KRC002,KR700,KA5152	窓ガラス	7,283台
13	平成20年6月6日	コベルコクレーン株式会社	クレーン用台車	RK160,RK200,RK250,RK250- 2,RK450	R160,R200,R250,R252,R450	窓ガラス	3,376台
14	平成20年6月6日	コベルコ建機株式会社	シヨベル・ローダ	SK04W,SK04WD,HK350W	SK04W,SK04WD,CH01,CH02	窓ガラス	38台
15	平成20年6月6日	株式会社小松製作所	シヨベル・ローダ	PW20-1,PW30-1,PW60-1,PW60N-1, PW60-3,PW60S-3,PW100-1, PW100-3,PW100-3A,PW100S-3, PW100N-3,PW100NS-3,PW150-1, PW200-1,LW160-1,LW200L-1, LW250L-1,LW250M-2,WA200-1, WA300-1,WA350-1,WA400-1, WA450-1,WA500-1	PW201A,PW301A,PW601,PW60N1, PW603,PW100,PW1003,PW1003A, PW100N3,PW1501,PW2001,LW1601, LW200L1,LW250L1,L001,W008, W002,W001,W003,W004,W007	窓ガラス	7,481台
16	平成20年6月6日	株式会社小松製作所	シヨベル・ローダ	PW200-7	不明	窓ガラス	4台
17	平成20年6月24日	株式会社タダノ	クレーン用台車	CREV0160,RK160-5	SD-T002,SD-EW04,SD-EW05	テフアレンシヤル(オイルシール)	385台

※詳細は別添の「リコール届け出一覧表」を参照して下さい。

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL: 03-5253-8111 内線 42353
 アドレス <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

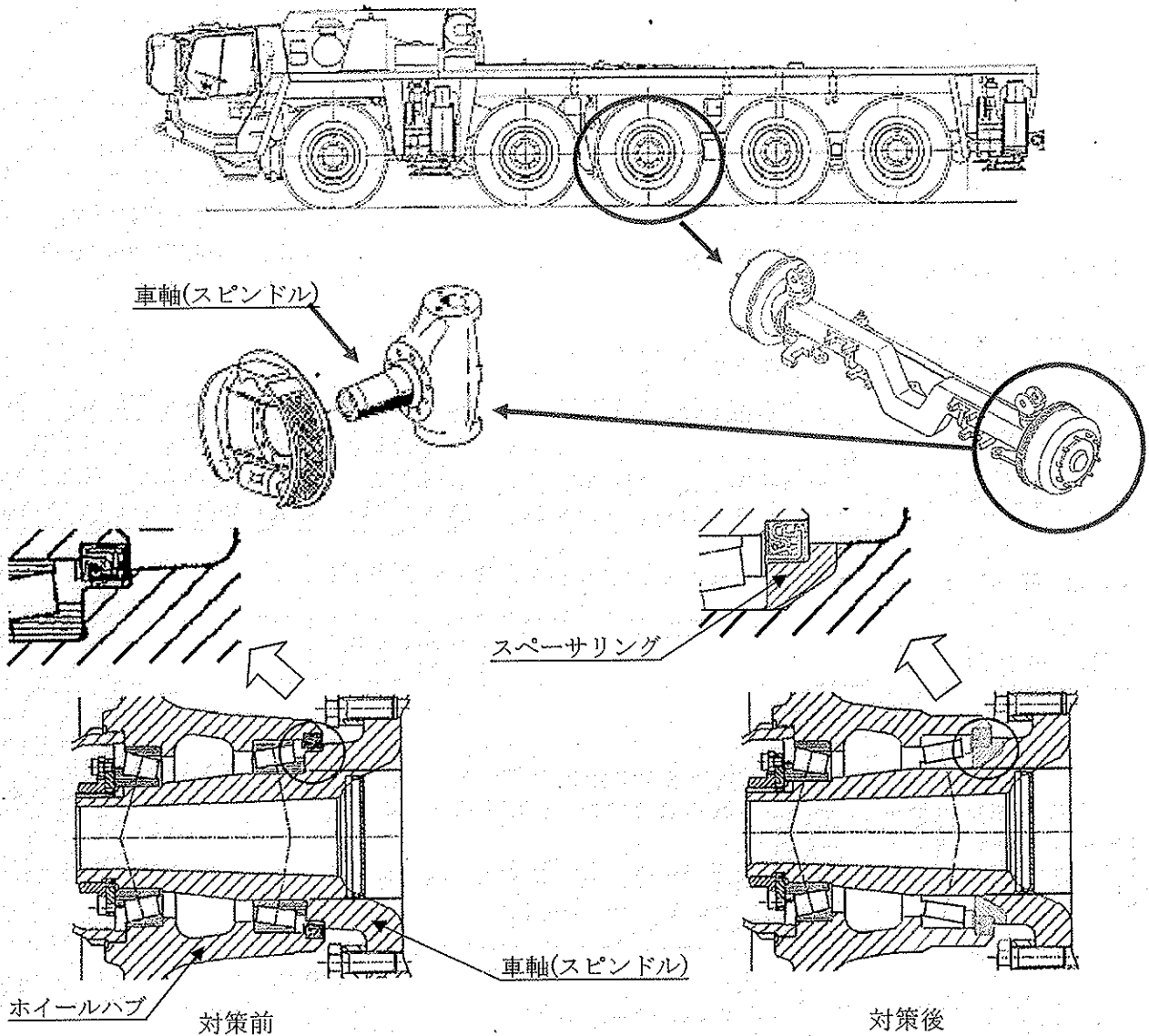
リコール届出日：平成20年4月10日

リコール届出番号	外-1482	リコール開始日	平成20年4月11日
届出者の氏名又は名称	株式会社 タダノ 取締役社長 多田野 宏一 問い合わせ先：品質安全部 TEL (087) 894-7550		
不具合の部位 (部品名)	走行装置 (スピンドル)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	クレーン用台車にクレーン部を装着したままで現場内を移動した場合、第3車軸 (スピンドル) 部に材料の疲労限を超える応力が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該スピンドルに亀裂が入り、最悪の場合、クレーン部を装着しない状態で一般路走行時に車輪が脱落するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該スピンドル部を対策品に交換する。		
不具合件数	なし	事故の有無	なし
発見の動機	社内検証による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：使用者を直接訪問またはダイレクトメールにて通知する。 ・自動車分解整備事業者：全使用者を把握しているため、周知のための措置は取らない ・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカ付近に外-1482のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
FAUN	不明	RTF120-5	WFN5RTJN2R4012002~WFN5RTJN264012117 平成8年2月23日~平成19年6月28日	110台	
		計1車種	(製作期間の全体の範囲) 平成8年2月23日~平成19年6月28日	110台	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図



不具合発生箇所

クレーン用台車にクレーン部を装着したままで現場内を移動した場合、第3車軸（スピンドル）部に材料の疲労限を超える応力が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該スピンドルに亀裂が入り、最悪の場合、クレーン部を装着しない状態で一般路走行時に車輪が脱落するおそれがある。

改善内容

全車両、当該スピンドル部を対策品に交換する。

識別：アクスルハウジング下面に白色のペイントマークをする。

平成20年5月8日

少数台数のリコール届出の公表について (平成20年4月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成20年4月は8件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月2日	外1478	車名：BMW 型式：K1200GT 他 通称名：BMW K1200GT 他	73	平成19年10月29日～ 平成20年1月7日
不具合の部位等	<p>1. フロントブレーキディスク固定ボルトに長さの短いボルトを取り付けたものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ボルトが折損し、最悪の場合、ブレーキディスクが外れ、制動力が低下するおそれがある。</p> <p>2. フロントブレーキディスク固定ボルトとホイール回転センサーの配線との隙間が狭いため、当該配線がフロントブレーキディスク固定ボルト頭部に接触することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該配線が損傷し、ABS警告灯が点灯するおそれがある。</p>			

2. 届出者：株式会社矢野特殊自動車

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
4月4日	2092	車名：富士 他 型式：TS1047 他	6	平成15年4月21日～ 平成19年6月8日
不具合の部位等	<p>車両運搬セミトレーラの2階荷台を動かすためのリンク機構において、接合ピンの強度が不足しているため、走行時の振動や荷台を動かすことにより接合ピンに亀裂が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、2階荷台が下がるおそれがある。</p>			

3. 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月10日	2093	車名：コマツ 型式：SD-GD20A 通称名：GD755-3 他	21	平成19年7月25日～ 平成19年10月22日
不具合の部位等	<p>かじ取シリンダの組立工程において、油圧ホースの固定位置が不適切なため、タイヤを傾けた状態（リーニング状態）でかじを大きく切ると、油圧ホースがリーニングロッドと干渉するものがあり、そのまま使用を続けると、当該油圧ホースが損傷し、最悪の場合、ホースに穴が開き作動油が漏れ、かじ取操作ができなくなるおそれがある。</p>			

4. 届出者：TCM株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月14日	2091	車名：TCM 他 型式：SD-S56 他 通称名：ZW220 他	50	平成17年12月14日～ 平成19年6月28日
不具合の部位等	<p>燃料タンクの支持部の強度が不足しているため、走行中または作業中の振動等により、当該支持部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。</p>			

5. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月15日	2100	車名：三菱 他 型式：PDG-MM96FH 他 通称名：ふそうエアロエース 他	49	平成19年10月9日～ 平成20年3月26日
不具合の部位等	ルーフに装着しているエアコンユニットの点検蓋を固定するための取付金具の接着部が剥がれるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該点検蓋が脱落するおそれがある。			

6. 届出者：スズキ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月17日	2097	車名：スズキ 型式：JBK-NH42A 通称名：バンバン	89	平成19年12月5日～ 平成20年3月4日
不具合の部位等	スピードメータの照明用反射板に誤った部品を組み付けたため、文字板の照度が低下する。そのため、夜間走行時において、速度の判読が困難となるおそれがある。			

7. 届出者：日立建機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月22日	2103	車名：日立 型式：SC-125W 他 通称名：ZX125W 他	68	平成18年6月23日～ 平成19年10月30日
不具合の部位等	前照灯および方向指示器の操作装置において、走行用前照灯用スイッチの接点部の形状に不適切なものがあるため、走行用前照灯点灯時に左の方向指示器を作動させると、走行用前照灯が消灯するおそれがある。			

8. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月24日	外1483	車名：フォルクスワーゲン 型式：GH-1KAXW 他 通称名：VWゴルフ2.0 他	55	平成16年4月10日～ 平成17年9月22日
不具合の部位等	高輝度放電灯式前照灯のインバータ（電圧変換装置）と前照灯の制御コンピュータとの組み合わせが不適切なため、走行用前照灯を点灯させるとすれ違い用前照灯がちらつきを起こし、最悪の場合、消灯するおそれがある。			

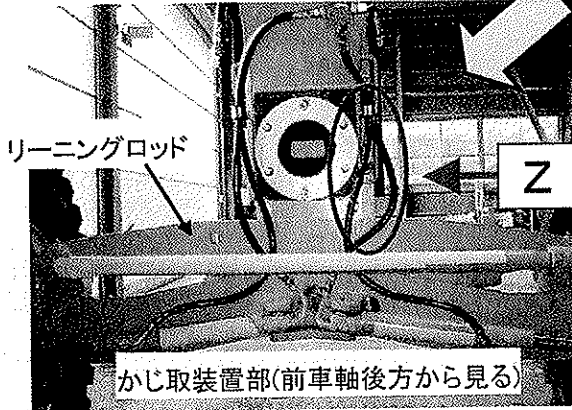
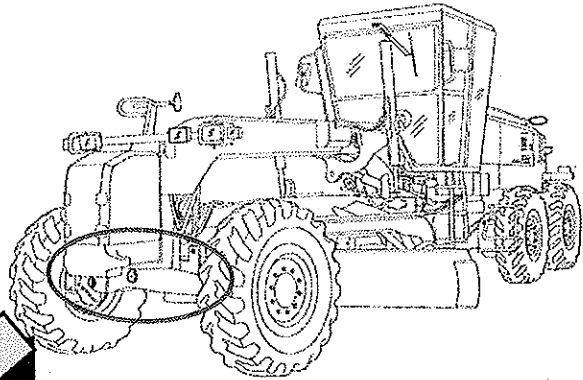
【参考】平成20年4月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	21件	15件	6件
輸入車	11件	9件	2件
計	32件	24件	8件

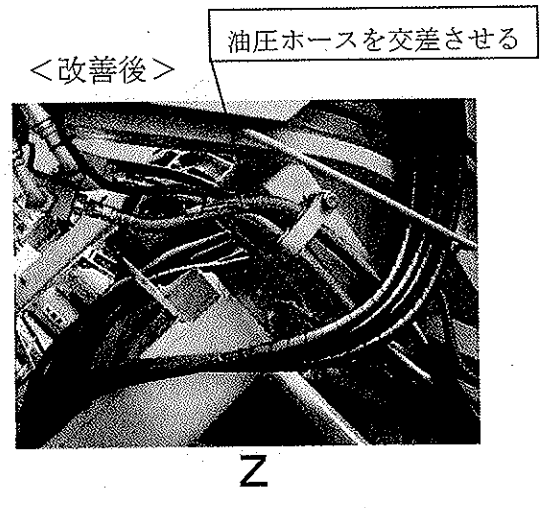
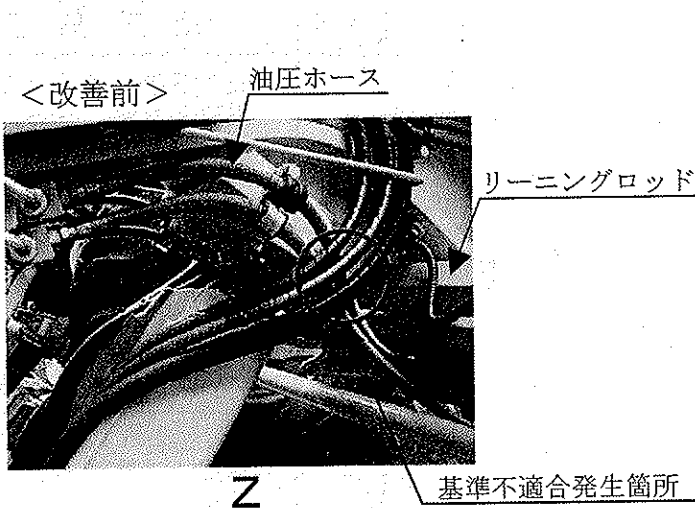
(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 中村・山口
電話 03-5253-8111(代表)(内線 42352・42354)

改善箇所説明図 (通称名GD755-3)



注: は作業内容を示す



かじ取りシリンダの組立工程において、油圧ホースの固定位置が不適切なため、タイヤを傾けた状態(リーニング状態)でかじを大きく切ると、油圧ホースがリーニングロッドと干渉するものがあり、そのまま使用を続けると、当該ホースが損傷し、最悪の場合、ホースに穴が開き作動油が漏れ、かじ取り操作ができなくなるおそれがある。

改善措置の内容 : 全車両、かじ取シリンダの油圧ホースを正規な状態に組み立て直す。

識別 : 外観(油圧ホース径路)で識別する。

平成20年5月8日

少数台数のリコール届出の公表について (平成20年4月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成20年4月は8件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
4月2日	外1478	車名：BMW 型式：K1200GT 他 通称名：BMW K1200GT 他	73	平成19年10月29日～ 平成20年1月7日
不具合の部位等	<p>1. フロントブレーキディスク固定ボルトに長さの短いボルトを取り付けたものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ボルトが折損し、最悪の場合、ブレーキディスクが外れ、制動力が低下するおそれがある。</p> <p>2. フロントブレーキディスク固定ボルトとホイール回転センサーの配線との隙間が狭いため、当該配線がフロントブレーキディスク固定ボルト頭部に接触することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該配線が損傷し、ABS警告灯が点灯するおそれがある。</p>			

2. 届出者：株式会社矢野特殊自動車

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	輸入期間
4月4日	2092	車名：富士 他 型式：TS1047 他	6	平成15年4月21日～ 平成19年6月8日
不具合の部位等	<p>車両運搬セミトレーラの2階荷台を動かすためのリンク機構において、接合ピンの強度が不足しているため、走行時の振動や荷台を動かすことにより接合ピンに亀裂が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、2階荷台が下がるおそれがある。</p>			

3. 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
4月10日	2093	車名：コマツ 型式：SD-GD20A 通称名：GD755-3 他	21	平成19年7月25日～ 平成19年10月22日
不具合の部位等	<p>かじ取シリンダの組立工程において、油圧ホースの固定位置が不適切なため、タイヤを傾けた状態（リーニング状態）でかじを大きく切ると、油圧ホースがリーニングロッドと干渉するものがあり、そのまま使用を続けると、当該油圧ホースが損傷し、最悪の場合、ホースに穴が開き作動油が漏れ、かじ取操作ができなくなるおそれがある。</p>			

4. 届出者：TCM株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
4月14日	2091	車名：TCM 他 型式：SD-S56 他 通称名：ZW220 他	50	平成17年12月14日～ 平成19年6月28日
不具合の部位等	<p>燃料タンクの支持部の強度が不足しているため、走行中または作業中の振動等により、当該支持部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。</p>			

5. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
4月15日	2100	車名：三菱 他 型式：PDG-MM96FH 他 通称名：ふそうエアロース 他	49	平成19年10月9日～ 平成20年3月26日
不具合の部位等	ルーフに装着しているエアコンユニットの点検蓋を固定するための取付金具の接着部が剥がれるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該点検蓋が脱落するおそれがある。			

6. 届出者：スズキ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
4月17日	2097	車名：スズキ 型式：JBK-NH42A 通称名：バンバン	89	平成19年12月5日～ 平成20年3月4日
不具合の部位等	スピードメータの照明用反射板に誤った部品を組み付けたため、文字板の照度が低下する。そのため、夜間走行時において、速度の判読が困難となるおそれがある。			

7. 届出者：日立建機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
4月22日	2103	車名：日立 型式：SC-125W 他 通称名：ZX125W 他	68	平成18年6月23日～ 平成19年10月30日
不具合の部位等	前照灯および方向指示器の操作装置において、走行用前照灯用スイッチの接点部の形状に不適切なものがあるため、走行用前照灯点灯時に左の方向指示器を作動させると、走行用前照灯が消灯するおそれがある。			

8. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
4月24日	外1483	車名：フォルクスワーゲン 型式：GH-1KAXW 他 通称名：VWゴルフ2.0 他	55	平成16年4月10日～ 平成17年9月22日
不具合の部位等	高輝度放電灯式前照灯のインバータ（電圧変換装置）と前照灯の制御コンピュータとの組み合わせが不適切なため、走行用前照灯を点灯させるとすれ違い用前照灯がちらつきを起こし、最悪の場合、消灯するおそれがある。			

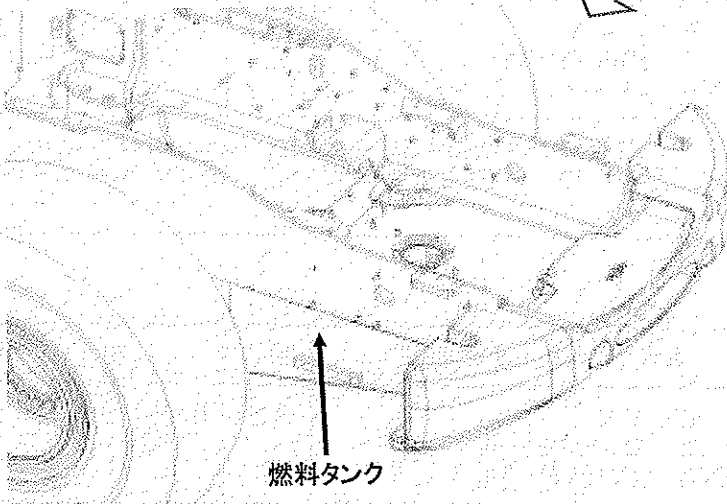
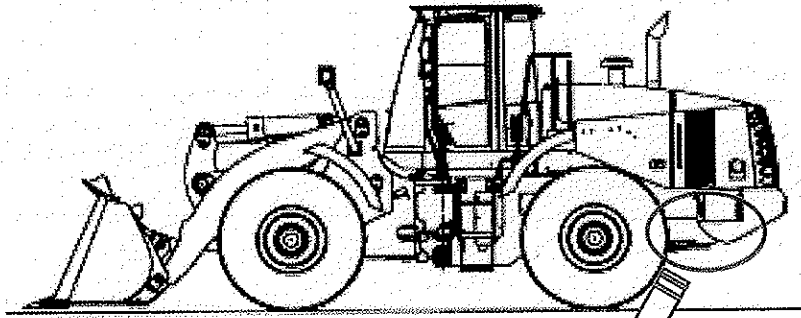
【参考】平成20年4月のリコール届出総件数

	内 訳		
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	21件	15件	6件
輸入車	11件	9件	2件
計	32件	24件	8件

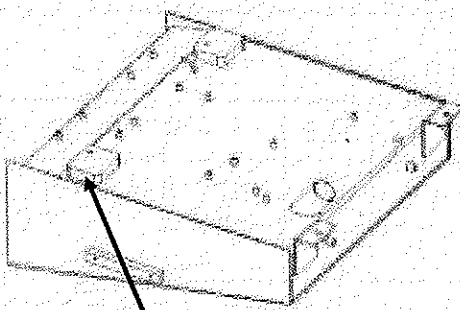
(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 中村・山口
電話 03-5253-8111(代表) (内線 42352・42354)

【改善箇所説明図】

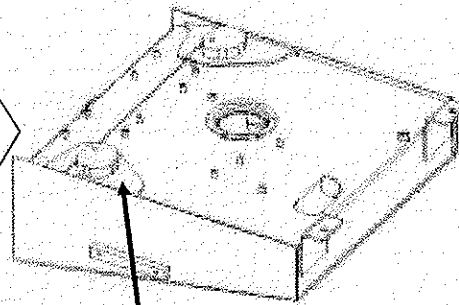
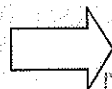


【不具合品】



マウントプレートの
溶接部に亀裂が
入る

【対策品】



9mmのあて板を追加

燃料タンクの支持部の強度が不足しているため、走行中または作業中の振動等により、当該支持部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。

【改造処理の内容】

燃料タンク天板と、マウントプレート間に、9mmのあて板を追加し、急激な板厚の変化をなくすことで、応力集中をさけた。
実車応力測定を実施し、車体寿命をクリアすることを確認した。

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成20年4月18日

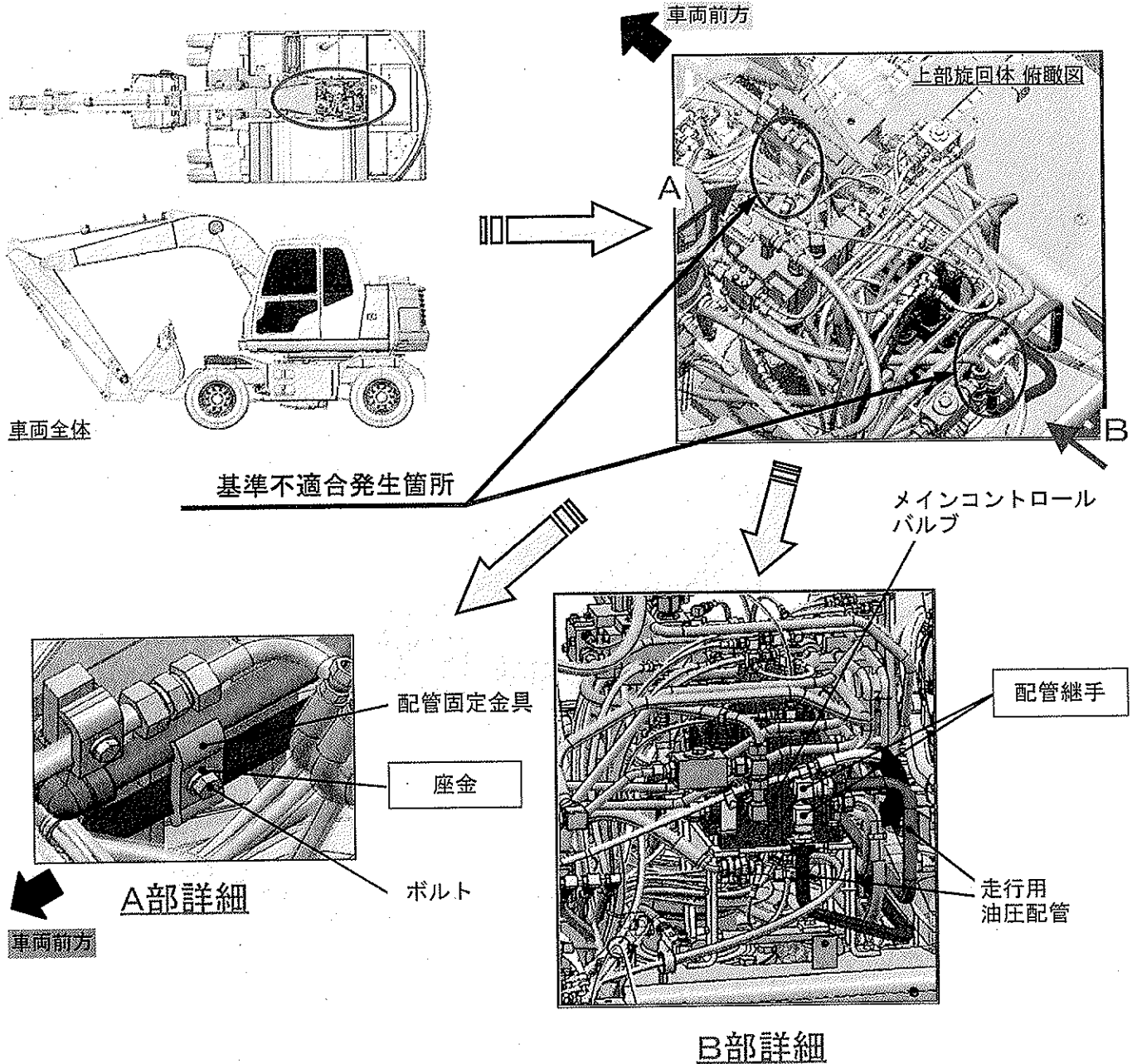
リコール届出番号	2101	リコール開始日	平成20年4月18日	
届出者の氏名又は名称	コベルコ建機株式会社 代表取締役社長 島田 博夫		製作者名：コベルコ建機株式会社 問い合わせ先：品質保証部 プロダクトサポート室 TEL：082-874-1114	
不具合の部位 (部品名称)	① 動力伝達装置（走行用油圧配管） ② 動力伝達装置（走行用油圧ホース） ③ 制動装置（ブレーキ用エアホース） ④ 動力伝達装置（走行用油圧ホース） ⑤ 電気配線			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	① 走行用油圧配管において、配管固定金具のボルトの締付トルクが不足しているもの、および配管継手の強度が不足しているものがあるため、車体の振動等により当該ボルトが緩み、配管継手に亀裂が発生する場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、作動油が漏れ、最悪の場合、走行ができなくなるおそれがある。 ② 走行用油圧ホースの配置が不適切なため、旋回継手の配管継手と接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車体の振動等によりホースが摩耗し、作動油が漏れ、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。 ③ 掘削作業装置用ホースの配置が不適切なため、ブレーキ用エアホースと接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車体の振動等によりエアホースが摩耗し、エアが漏れ、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。 ④ 走行用油圧ホースの配置が不適切なため、掘削作業装置用ホースと接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車体の振動等によりホースが摩耗し、作動油が漏れ、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。 ⑤ 電気配線の取付が不適切なため、運転者席下部のフレームと接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車体の振動等により配線が損傷し、最悪の場合、方向指示器が作動しなくなるおそれがある。			
改善措置の内容	① 全車両、配管固定金具の座金を対策品に交換し、ボルトを適正トルクで締付ける。また、配管継手を点検し、強度が不足しているものは対策品に交換する。 ② 全車両、走行用油圧ホースに保護部材を追加する。また、ホースを点検し、摩耗しているものは新品に交換する。 ③ 全車両、ホースの配置を点検し、不適切なものは組み直す。また、ホースを点検し、摩耗しているものは新品と交換する。 ④ 全車両、ホースの配置を点検し、不適切なものは組み直す。また、ホースを点検し、摩耗しているものは新品と交換する。 ⑤ 全車両、電気配線の固定位置を変更する。また、電気配線を点検し、摩耗しているものは新品と交換する。			
不具合件数	① 6件 ② 2件 ③④⑤ 0件	事故の有無	無し	
発見の動機	市場からの情報、及び社内点検による。			
自動車使用者及び自動車分解整備業者に周知させるための措置	(ア) 使用者：ダイレクトメール、又は直接訪問して通知する。 (イ) 自動車分解整備業者：使用者を全て把握しているので、周知のための措置はとらない。 (ウ) 対策実施車両：対策実施済車には、運転者席ドア開口部のドアストライカー付近にNo. 2101のステッカーを貼付する。			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び製作期間	リコール 対象車の 台数	備考
神 鋼	YE1	SK100W	YE02-01004 ~ YE02-01967 平成元年6月8日 ~ 平成8年9月20日	216 台	①:216 台
	YE2		YE03-02001 ~ YE03-02251 平成8年10月5日 ~ 平成11年9月21日	135 台	①:135 台
コベルコ	YE02		YE03-02254 ~ YE03-02462 平成11年10月3日 ~ 平成16年8月22日	169 台	①:169 台
	YE04	SK125W	YE04-03002 ~ YE04-03128 平成18年5月19日 ~ 平成20年3月21日	119 台	①,②,④,及び ⑤:119 台 ③:101 台
	(計 4 型式)	(計 2 車種)	(製造期間の全体の範囲) 平成元年6月8日~平成20年3月21日	(計 639 台)	①:639 台 ②, ④, 及び ⑤:119 台 ③:101 台

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

【改善箇所説明図 ①】



不具合の内容

走行用油圧配管において、配管固定金具のボルトの締付トルクが不足しているもの、および配管継手の強度が不足しているものがあるため、車体の振動等により当該ボルトが緩み、配管継手に亀裂が発生する場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、作動油が漏れ、最悪の場合、走行ができなくなるおそれがある。

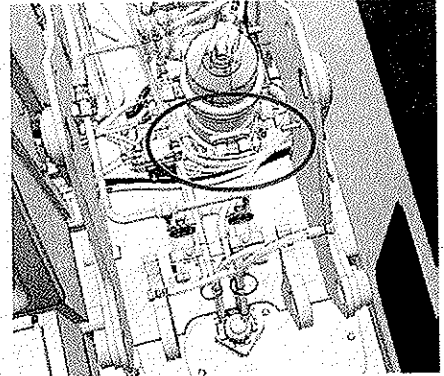
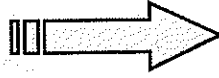
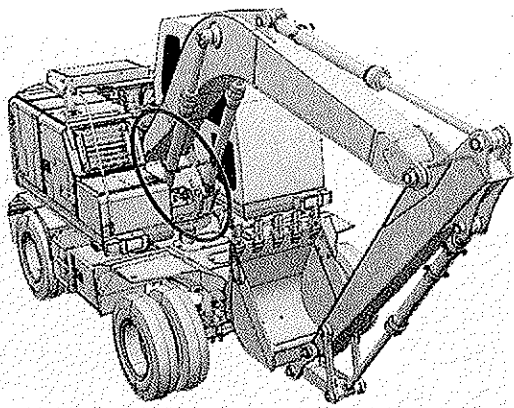
改善の内容

全車両、配管固定金具の座金を対策品に交換し、ボルトを適正トルクで締付ける。また配管継手を点検し、強度が不足しているものは対策品に交換する。

注) □内は交換部品を示す。

識別：配管固定金具、及び配管継手表面に白ペンキを塗布し、識別する。

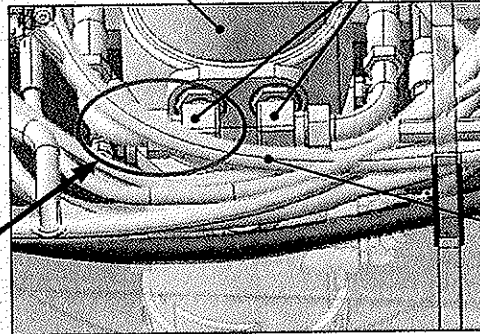
【改善箇所説明図 ②】



旋回継手

配管継手

基準不適合発生箇所



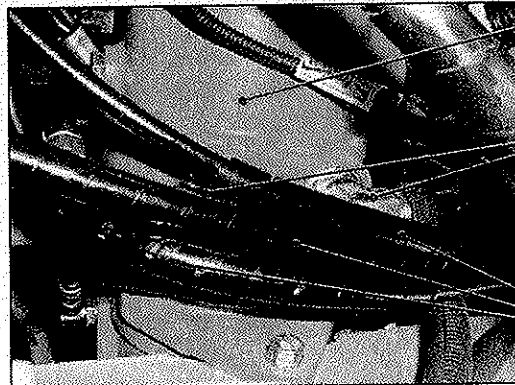
走行用油圧ホース

不具合の内容

走行用油圧ホースの配置が不適切なため、旋回継手の配管継手と接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車体の振動等によりホースが摩耗し、作動油が漏れ、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、走行用油圧ホースに保護部材を追加する。また、ホースを点検し、摩耗しているものは新品に交換する。



旋回継手

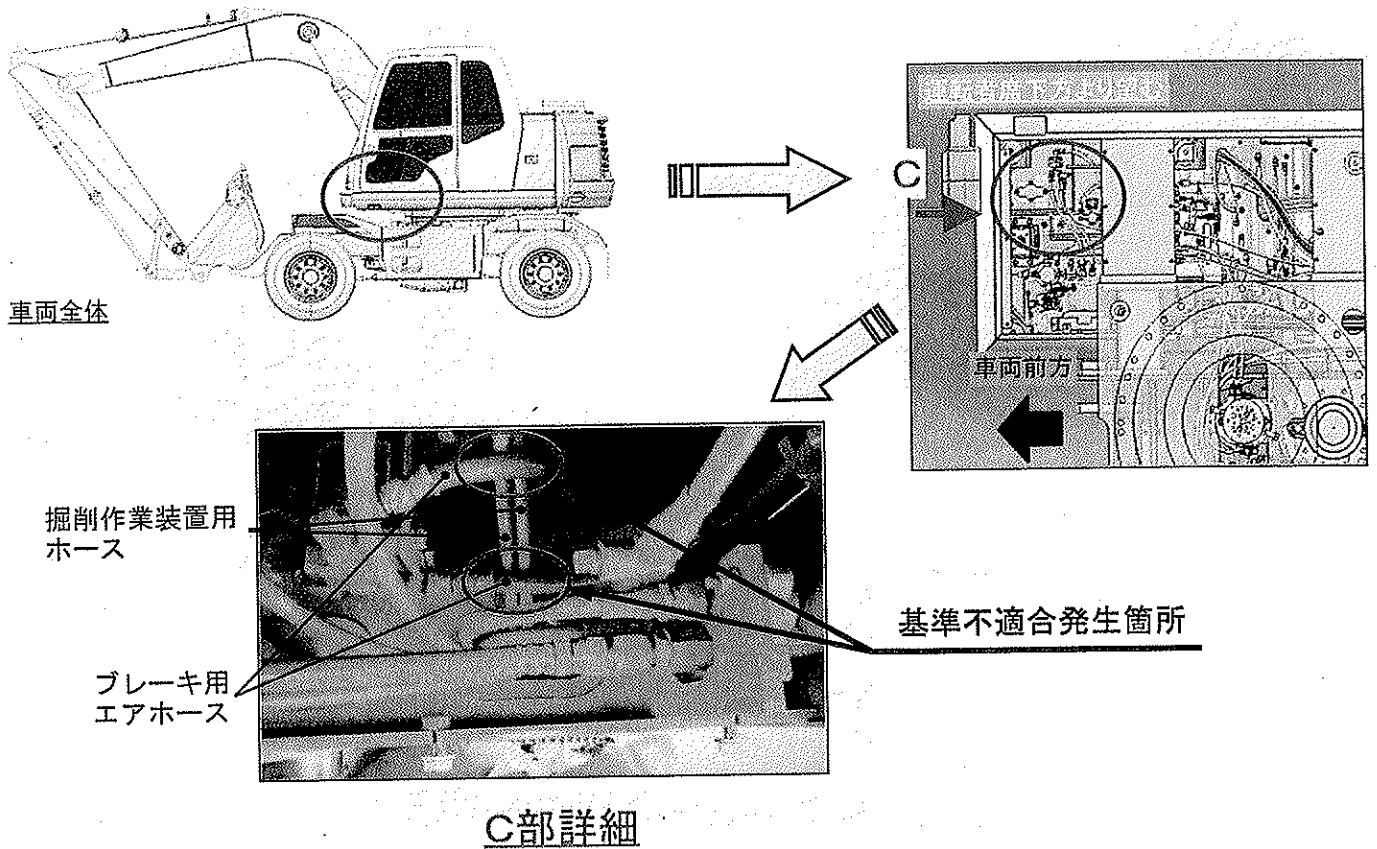
配管継手

ホース保護部材

注) □内は追加部品を示す。

識別：ホースの保護部材が装着されていることで識別する。

【改善箇所説明図 ③】

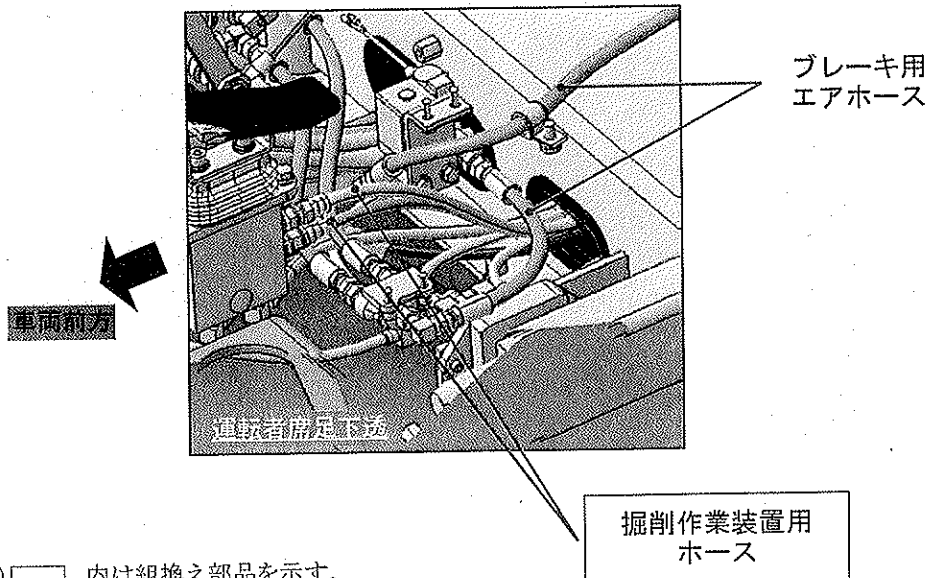


不具合の内容

掘削作業装置用ホースの配置が不適切なため、ブレーキ用エアホースと接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車体の振動等によりエアホースが摩耗し、エアが漏れ、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。

改善の内容

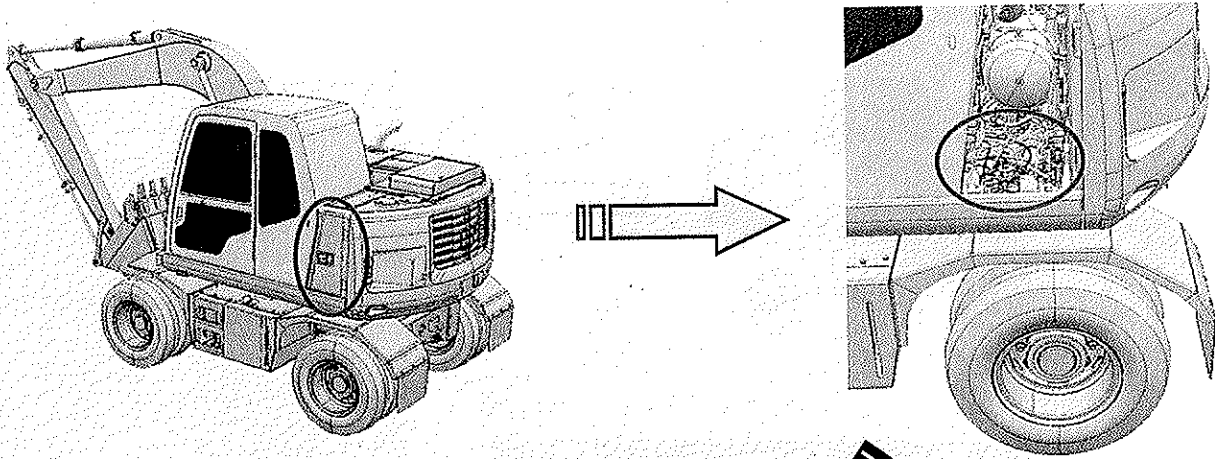
全車両、ホースの配置を点検し、不適切なものは組み直す。また、ホースを点検し、摩耗しているものは新品と交換する。



注) □内は組換え部品を示す。

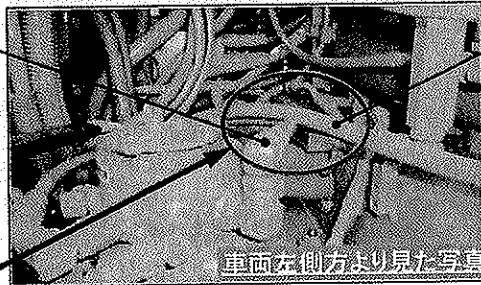
識別：掘削作業装置用ホースの配置にて識別する。

【改善箇所説明図 ④】



掘削作業装置用
ホース

走行用油圧ホース



基準不適合発生箇所

車両左側方より見た写真

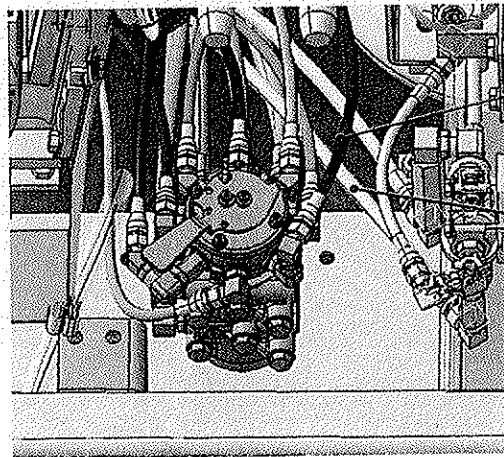
不具合の内容

走行用油圧ホースの配置が不適切なため、掘削作業装置用ホースと接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車体の振動等によりホースが摩耗し、作動油が漏れ、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、ホースの配置を点検し、不適切なものは組み直す。また、ホースを点検し、摩耗しているものは新品と交換する。

車両前方



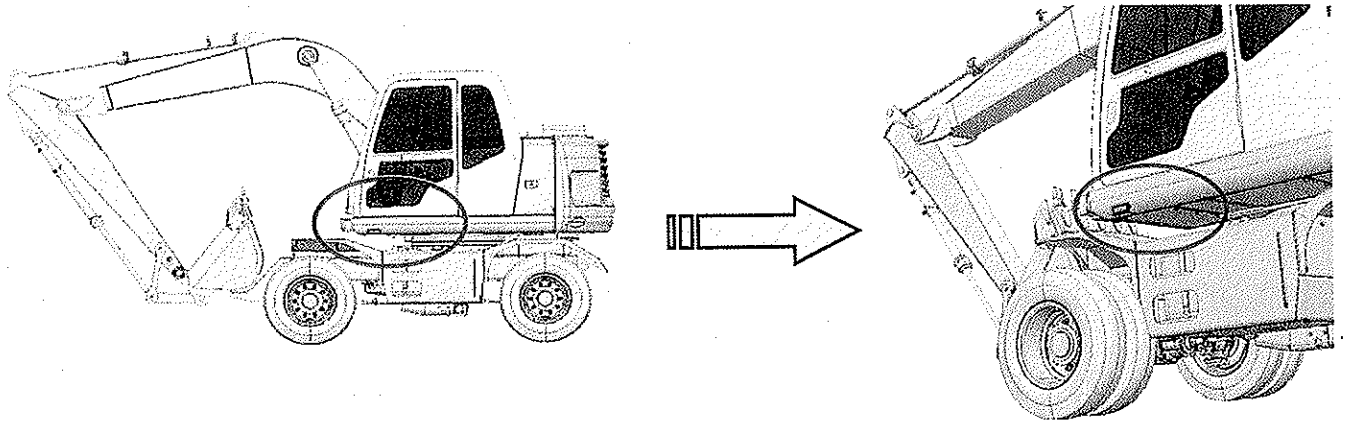
掘削作業装置用ホース

走行用
油圧ホース

注) □ 内は組換え部品を示す。

識別：掘削作業装置用ホースの配置にて識別する。

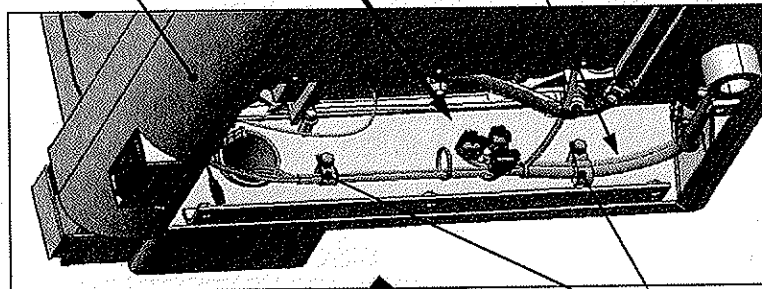
【改善箇所説明図 ⑤】



基準不適合発生箇所

フレーム

電気配線



運転者席下方より望む

車両前方

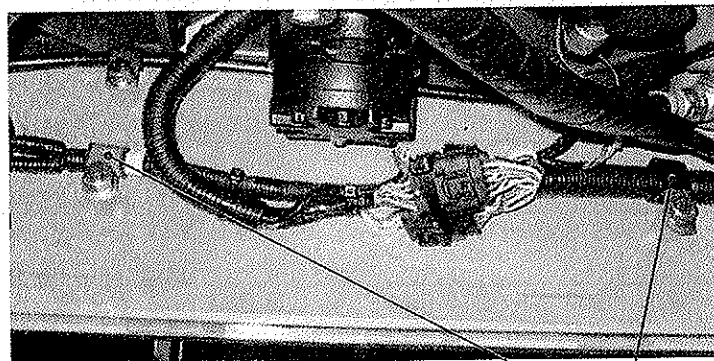
配線固定金具

不具合の内容

電気配線の取付が不適切なため、運転者席下部のフレームと接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車体の振動等により配線が損傷し、最悪の場合、方向指示器が作動しなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、電気配線の固定位置を変更する。また、電気配線を点検し、摩耗しているものは新品と交換する。



配線固定金具

注) □内は組換え部品を示す。

識別：電気配線の固定位置で識別する。

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL：03-5253-8111 内線42352
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成20年4月22日

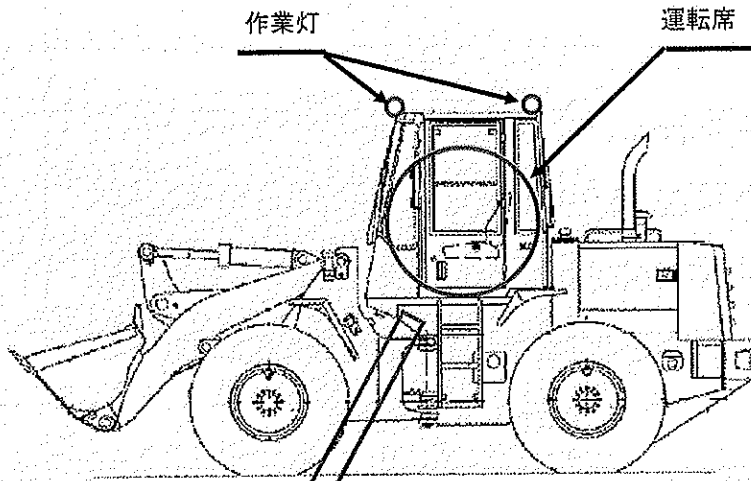
リコール届出番号	2102	リコール開始日	平成20年4月23日
届出者の氏名又は名称	日立建機株式会社 代表執行役 木川 理二郎	問合せ先：日立建機 開発・生産統括本部 品質保証センター サービスG Tel：0298-32-7109	
不具合の部位（部品名）	作業灯点灯状態確認装置		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	走行中に使用しない灯火（作業灯）において、運転者席で点灯状態を確認できる装置を備えていないものがあり、保安基準に適合していないおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、点灯状態を確認できる装置の有無を点検し、取り付けられていない場合は取り付ける。		
不具合件数	—	事故の有無	—
発見の動機	自動車検査独立行政法人からの指摘による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者へ直接電話等で通知する。 ・自動車分解整備事業者への連絡は、使用者をすべて把握しているので、周知のための措置はとらない。 ・対策完了車については、後面窓ガラスの左下側又はモニタースタンド左側にステッカー（2102）を貼る。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
日立	L705	LX70-5	L705-5101～L705-8020 平成11年5月9日～平成15年9月30日	361台	
日立	L805	LX80-5	L805-5105～L805-5213 平成11年5月9日～平成13年10月31日	81台	
日立	HS50 HS50F	LX70-7	S50-129～S50-2533 平成13年5月14日～平成16年2月8日	517台	
日立	SB-HS50 SB-HS50F	LX70-7	S50-5110～S50-7234 平成16年3月12日～平成19年12月16日	657台	
日立	HS51 HS51F	LX80-7	S51-118～S51-1219 平成13年5月18日～平成16年2月10日	109台	
日立	SC-HS51 SC-HS51F	LX80-7	S51-2101～S51-2611 平成16年2月26日～平成19年11月10日	117台	
日立	HS26 HS26F	LX110-7	S26-1118～S26-2212 平成12年9月21日～平成16年2月21日	96台	
日立	SC-HS26 SC-HS26F	LX110-7	S26-3110～S26-3809 平成16年3月6日～平成19年12月12日	120台	
日立	HS32 HS32F	LX130-7	S32-119～S32-1213 平成12年8月15日～平成16年2月10日	71台	
日立	SD-HS32 SD-HS32F	LX130-7	S32-2105～S32-2684 平成16年3月11日～平成19年10月5日	80台	
日立	HS33 HS33F	LX160-7	S33-120～S33-1170 平成12年10月6日～平成16年1月20日	28台	
日立	SD-HS33 SD-HS33F	LX160-7	S33-2104～S33-2322 平成16年3月6日～平成18年1月20日	10台	
日立	HS34 HS34F	LX190-7	S34-3110～S34-4120 平成12年9月26日～平成16年2月3日	5台	
日立	SD-HS34 SD-HS34F	LX190-7	S34-7101～S34-7150 平成16年3月20日～平成17年9月21日	5台	

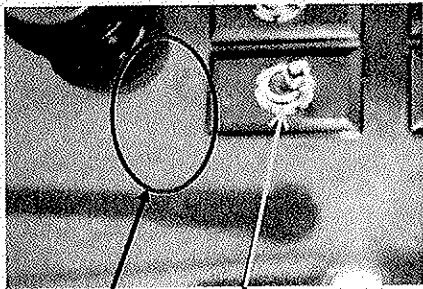
日立	HS34 HS34F	LX230-7	S34-124 ~ S34-2152 平成12年9月1日~平成16年3月1日	9台	
日立	SD-HS34 SD-HS34F	LX230-7	S34-5103 ~ S34-5225 平成16年4月2日~平成18年3月30日	2台	
日立	125W	EX125WD-5	125W-5101~125W-5683 平成11年1月1日~平成15年7月31日	387台	
日立	125W	ZX125W	125W-6001~125W-6113 平成15年6月1日~平成16年7月31日	69台	
日立	SC-125W	ZX125W	125W-6114~125W-6429 平成16年8月1日~平成19年12月25日	203台	
日立	CBB	ZX160W	JK6CBB00300002002~JK6CBB00300002231 平成15年3月1日~平成16年6月30日	7台	
日立	SC-CBB	ZX160W	JK6CBB00300002238~JK6CBB00300002505 平成16年8月1日~平成19年2月28日	14台	
日立	CDB	ZX210W	JK6CDB00300001002~JK6CDB00300001152 平成14年6月1日~平成16年8月31日	8台	
日立	SC-CDB	ZX210W	JK6CDB00300001184~JK6CDB00300001562 平成16年9月1日~平成19年12月26日	10台	
	(計32型式)	(計13機種)	(製作期間の全体の範囲) 平成11年1月1日~平成19年12月26日	(計2966台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図



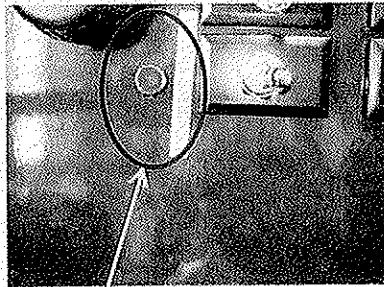
対策前



作業灯用点灯スイッチ

基準不適合発生箇所

対策後



作業灯点灯状態確認装置

〔 走行中に使用しない灯火(作業灯)において、運転者席で点灯状態を確認できる装置を備えていないものがあり、保安基準に適合していないおそれがある。 〕

改善内容

〔 全車両、点灯状態を確認できる装置の有無を点検し、取り付けられていない場合は取り付ける。 〕

注: は対策部品を示す。

識別: 外観上、点灯状態確認装置(インジケータ)の有無にて容易に識別が可能なので、特別な識別の追加はおこなわない。

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL：03-5253-8111 内線42352
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

6

リコール届出一覧表

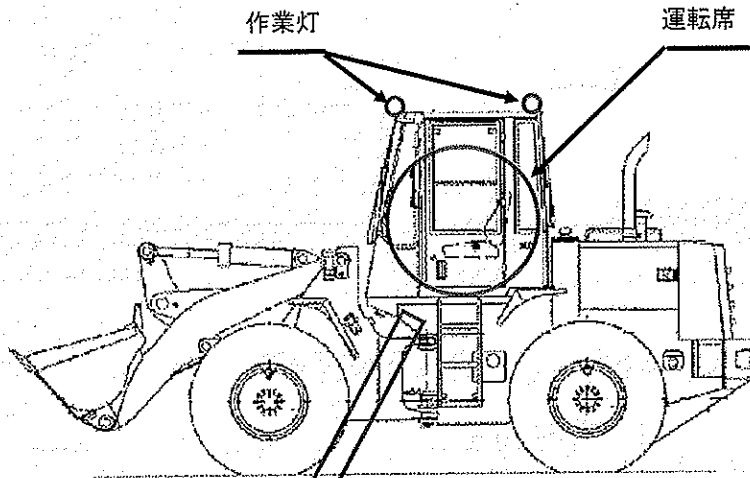
リコール届出日：平成20年4月22日

リコール届出番号	外-1486	リコール開始日	平成20年4月23日
届出者の氏名又は名称	日立建機株式会社 代表執行役 木川 理二郎	製作国：アメリカ合衆国 製作者名：ジョンディア 問合せ先：日立建機 開発・生産統括本部 品質保証センター サービスG Tel：0298-32-7109	
不具合の部位（部品名）	作業灯点灯状態確認装置		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	走行中に使用しない灯火（作業灯）において、運転者席で点灯状態を確認できる装置を備えていないものがあり、保安基準に適合していないおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、点灯状態を確認できる装置の有無を点検し、取り付けられていない場合は取り付ける。		
不具合件数	—	事故の有無	—
発見の動機	社内からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者へ直接電話等で通知する。 ・自動車分解整備事業者への連絡は、使用者をすべて把握しているため、周知のための措置はとらない。 ・対策完了車については、後面窓ガラスの右下側又はモニタースタンド左側にステッカー（外-1486）を貼る。 		

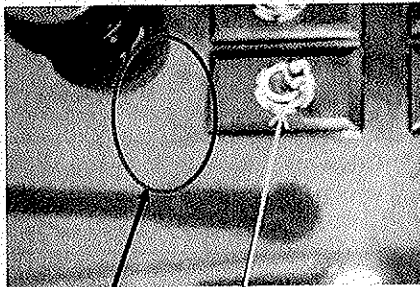
車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ジョンディア	L100H	LX100-5	L100H-562206~L100H-577391 平成10年9月1日~平成12年12月7日	76台	
ジョンディア	L120H	LX120-5	L120H-566135~L120H-577356 平成10年10月1日~平成12年10月25日	52台	
ジョンディア	L150H	LX150-5	L150H-572309~L150H-577376 平成11年4月1日~平成13年5月1日	16台	
ジョンディア	L230H	LX230-5	L230H-565845~L230H-572672 平成10年4月1日~平成11年9月1日	5台	
	(計4型式)	(計4機種)	(製作期間の全体の範囲) 平成10年4月1日~平成13年5月1日	(計149台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図



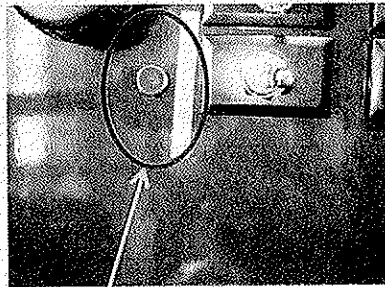
対策前



作業灯用点灯スイッチ

基準不適合発生箇所

対策後



作業灯点灯状態確認装置

〔 走行中に使用しない灯火(作業灯)において、運転者席で点灯状態を確認できる装置を備えていないものがあり、保安基準に適合していないおそれがある。 〕

改善内容

〔 全車両、点灯状態を確認できる装置の有無を点検し、取り付けられていない場合は取り付ける。 〕

注: は対策部品を示す。

識別: 外観上、点灯状態確認装置(インジケータ)の有無にて容易に識別が可能な為、特別な識別の追加はおこなわない。

平成20年5月8日

少数台数のリコール届出の公表について (平成20年4月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成20年4月は8件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月 2日	外 1478	車名：BMW 型式：K1200GT 他 通称名：BMW K1200GT 他	73	平成19年10月29日～ 平成20年 1月 7日
不具合の部位等	<p>1. フロントブレーキディスク固定ボルトに長さの短いボルトを取り付けたものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ボルトが折損し、最悪の場合、ブレーキディスクが外れ、制動力が低下するおそれがある。</p> <p>2. フロントブレーキディスク固定ボルトとホイール回転センサーの配線との隙間が狭いため、当該配線がフロントブレーキディスク固定ボルト頭部に接触することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該配線が損傷し、ABS警告灯が点灯するおそれがある。</p>			

2. 届出者：株式会社矢野特殊自動車

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
4月 4日	2092	車名：富士 他 型式：TS1047 他	6	平成15年 4月21日～ 平成19年 6月 8日
不具合の部位等	<p>車両運搬セミトレーラの2階荷台を動かすためのリンク機構において、接合ピンの強度が不足しているため、走行時の振動や荷台を動かすことにより接合ピンに亀裂が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、2階荷台が下がるおそれがある。</p>			

3. 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月10日	2093	車名：コマツ 型式：SD-GD20A 通称名：GD755-3 他	21	平成19年 7月25日～ 平成19年10月22日
不具合の部位等	<p>かじ取シリンダの組立工程において、油圧ホースの固定位置が不適切なため、タイヤを傾けた状態（リーニング状態）でかじを大きく切ると、油圧ホースがリーニングロッドと干渉するものがあり、そのまま使用を続けると、当該油圧ホースが損傷し、最悪の場合、ホースに穴が開き作動油が漏れ、かじ取操作ができなくなるおそれがある。</p>			

4. 届出者：TCM株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月14日	2091	車名：TCM 他 型式：SD-S56 他 通称名：ZW220 他	50	平成17年12月14日～ 平成19年 6月28日
不具合の部位等	<p>燃料タンクの支持部の強度が不足しているため、走行中または作業中の振動等により、当該支持部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。</p>			

5. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月15日	2100	車名：三菱 他 型式：PDG-MM96FH 他 通称名：ふそうエアロエス 他	49	平成19年10月9日～ 平成20年3月26日
不具合の部位等	ルーフに装着しているエアコンユニットの点検蓋を固定するための取付金具の接着部が剥がれるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該点検蓋が脱落するおそれがある。			

6. 届出者：スズキ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月17日	2097	車名：スズキ 型式：JBK-NH42A 通称名：バンバン	89	平成19年12月5日～ 平成20年3月4日
不具合の部位等	スピードメータの照明用反射板に誤った部品を組み付けたため、文字板の照度が低下する。そのため、夜間走行時において、速度の判読が困難となるおそれがある。			

7. 届出者：日立建機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月22日	2103	車名：日立 型式：SC-125W 他 通称名：ZX125W 他	68	平成18年6月23日～ 平成19年10月30日
不具合の部位等	前照灯および方向指示器の操作装置において、走行用前照灯用スイッチの接点部の形状に不適切なものがあるため、走行用前照灯点灯時に左の方向指示器を作動させると、走行用前照灯が消灯するおそれがある。			

8. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月24日	外1483	車名：フォルクスワーゲン 型式：GH-1KAXW 他 通称名：VWゴルフ2.0 他	55	平成16年4月10日～ 平成17年9月22日
不具合の部位等	高輝度放電灯式前照灯のインバータ（電圧変換装置）と前照灯の制御コンピュータとの組み合わせが不適切なため、走行用前照灯を点灯させるとすれ違い用前照灯がちらつきを起こし、最悪の場合、消灯するおそれがある。			

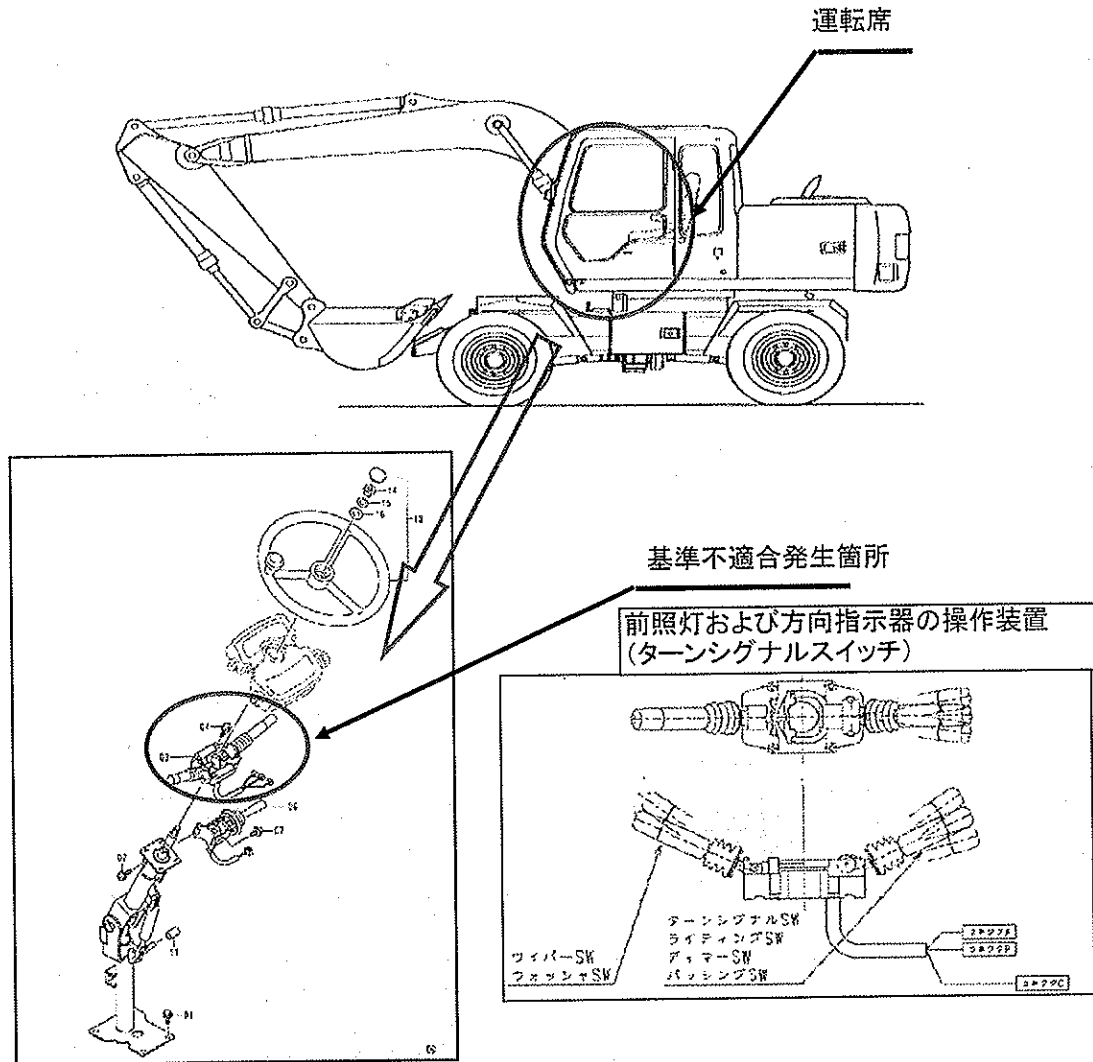
【参考】平成20年4月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	21件	15件	6件
輸入車	11件	9件	2件
計	32件	24件	8件

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 中村・山口
電話 03-5253-8111(代表)(内線 42352・42354)

改善箇所説明図



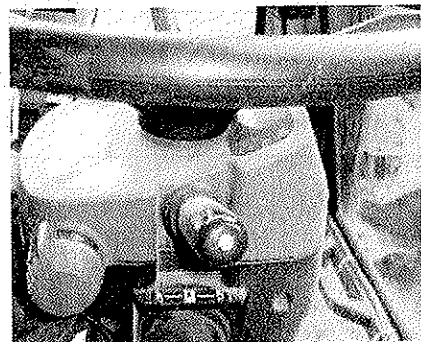
前照灯および方向指示器の操作装置において、走行用前照灯用スイッチの接点部の形状に不適切なものがあるため、走行用前照灯点灯時に左の方向指示器を作動させると、走行用前照灯が消灯するおそれがある。

改善内容

全車両、当該装置を点検し、不適切な場合は、当該装置を良品に交換する。

注: は対策部品を示す。

識別: 前照灯および方向指示器の操作装置の
前照灯操作部先端に白ペンにてマーキングを行う



連絡先	:自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
TEL	:03-5253-8111 内線42353
アドレス	:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

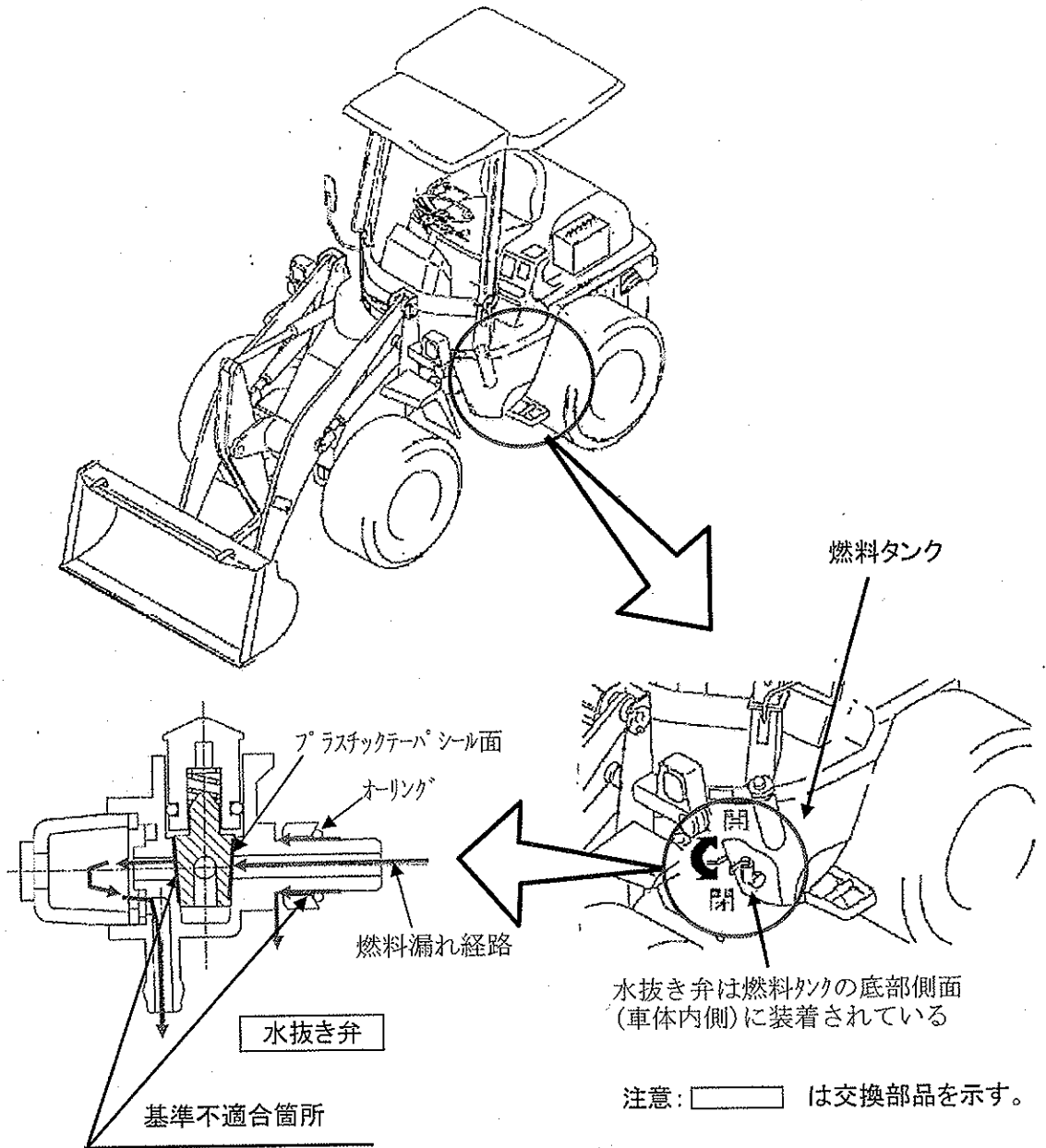
リコール届出日：平成20年6月4日

リコール届出番号	2128	リコール開始日	平成20年6月4日
届出者の氏名又は名称	コマツユーティリティ株式会社 代表取締役社長 磯田 進		問合せ先:品質保証本部 品質保証部 TEL :0285-28-9640
不具合の部位(部品名)	燃料装置(燃料タンク水抜き弁)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	燃料タンク下部に装着されている水抜き弁の気密性が不足しているものがある。そのため、水抜き弁から燃料が漏れるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、対策品の水抜き弁に交換する。		
不具合件数	1件	事故の有無	無し
発見の動機	社内における車両完成品検査にて発見		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	①使用者:直接電話またはダイレクトメール等により連絡する。 ②分解整備事業者:使用者を把握しているため、周知のための措置はとらない。 ③対策完了車両は、ステッカ(2128)を運転席ハンドル下のコラムカバー左側面に貼り付ける。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
コマツ	WA001AU	WA20-2E	WA001AU-16002~WA001AU-16013 平成19年10月30日~平成19年12月12日	12	
	SA-WA003AU	WA30-5	WA003AU-31152~WA003AU-31357 平成19年10月26日~平成19年12月13日	196	
	SA-WA005AU	WA40-3	WA005AU-23099~WA005AU-23226 平成19年10月26日~平成19年12月13日	113	
	SA-WA007AU	WA50-3	WA007AU-26013~WA007AU-26030 平成19年10月30日~平成19年12月6日	14	
	SA-WA005U	WA40-3	WA005U-23109~WA005U-23190 平成19年10月29日~平成19年11月29日	3	
	SA-WA007U	WA50-3	WA007U-26016~WA007U-26029 平成19年11月7日~平成19年12月6日	3	
	計6型式		(製作期間の全体の範囲) 平成19年10月26日~平成19年12月13日	(計341台)	

【注意事項】改善対策対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図

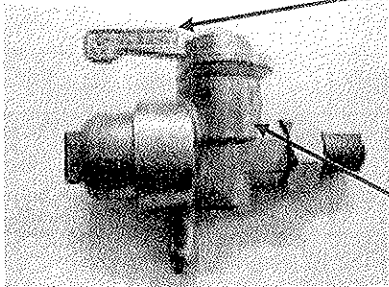


〔燃料タンク下部に装着されている水抜き弁の気密性が不足しているものがある。そのため、水抜き弁から燃料が漏れるおそれがある。〕

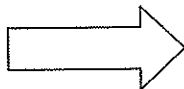
改善の内容

全車両、対策品の水抜き弁に交換する。

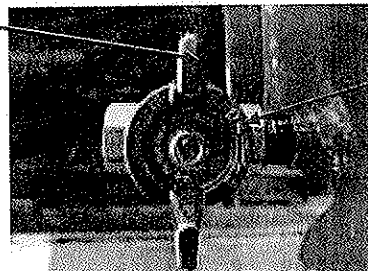
改善前



レバー



改善後(装着時)



注意: [] は交換部品を示す。

識別

水抜き弁のレバー形状が異なるので識別可能。

平成20年7月1日

少数台数のリコール届出の公表について (平成20年6月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成20年6月は12件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：コマツユーティリティ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
6月4日	2127	車名：小松 型式：ZAF-SM236 他 通称名：-	3	平成19年8月1日～ 平成19年10月30日
不具合の部位等	電気式フォークリフトにおいて、電源コントローラ内の配線の組付け作業指示が不適切なため、当該配線の接続部が他の配線接続部に接触するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、電源コントローラ内の制御基板の電子部品が破損し、最悪の場合、車両が走行できなくなるおそれがある。			

2. 届出者：コマツユーティリティ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月4日	2129	車名：コマツ 型式：WA001A 他 通称名：WA20-2E 他	41	平成19年8月2日～ 平成19年11月29日
不具合の部位等	作業装置固定用ピン操作レバーの操作位置を表示する操作銘板において異品が貼付されたため、表示の施錠位置にしても実際には解除になっている場合がある。そのため、そのままの状態で使用すると、最悪の場合、作業装置が脱落し走行に支障をきたすおそれがある。			

3. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月5日	2120	車名：三菱 型式：KC-MP717K改 他 通称名：ふそうエアスター	78	平成10年10月20日～ 平成15年4月23日
不具合の部位等	CNGエンジンにおいて、排気バルブの耐熱性が不足しているため、バルブが欠損する場合がある。そのため、異音発生、アイドル不調、出力不足となり、最悪の場合エンジンが停止して再始動出来なくなるおそれがある。			

4. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月12日	2132	車名：いすゞ 型式：PJ-CVR52K6 他 通称名：ギガ	39	平成17年10月31日～ 平成19年6月5日
不具合の部位等	VGS（可変翼式）ターボの可変翼を動かす電磁弁の配線が誤っているため、エンジンの作動状態に応じた適正な可変翼位置が得られず、ターボの過給圧が異常に上がる場合がある。この結果、エンジンの耐久寿命が短くなり、エンジン内部が破損するおそれがある。			

5. 届出者：日産ディーゼル工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月17日	2133	車名：ニッサンディーゼル 型式：ADG-CD4XL 他 通称名：-	32	平成18年 9月 6日～ 平成20年 3月 5日
不具合の部位等	大型ダブルキャブ車において、パワーステアリング配管の形状が不適切なため、ステアリングを最大限度まで切った状態で段差等を通じた場合、タイヤが当該配管と接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、接触部分が損傷し、最悪の場合、オイルが漏れ、ステアリングの操舵力が過大になるおそれがある。			

6. 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月20日	2136	車名：コマツ 型式：HV6000 通称名：HV6000-1	16	平成13年 1月 9日～ 平成19年 3月 7日
不具合の部位等	燃料タンクに備えられている止栓（増設燃焼ヒーター用燃料取り出し口）の締付け力指示が不適切なため、締付け力が不足し燃料が漏れるものがある。			

7. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月24日	2134	車名：三菱 型式：KC-FL618EZ 他 通称名：ふそうファイター	6	平成 7年 6月28日～ 平成10年10月14日
不具合の部位等	4輪駆動車の副変速機用電子制御装置において、速度抑制装置（スピードリミッター）を後付けした際の信号変換器の電源供給回路が不適切なものがある。そのため、キースイッチ操作時に副変速機用電子制御装置に瞬間的な過電流が流れ、その繰返しによって内部回路が損傷し、副変速機、速度抑制装置及び速度計が不作動となるおそれがある。			

8. 届出者：株式会社福田モーター商会

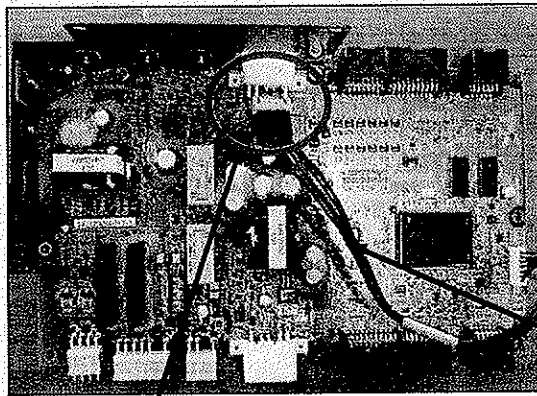
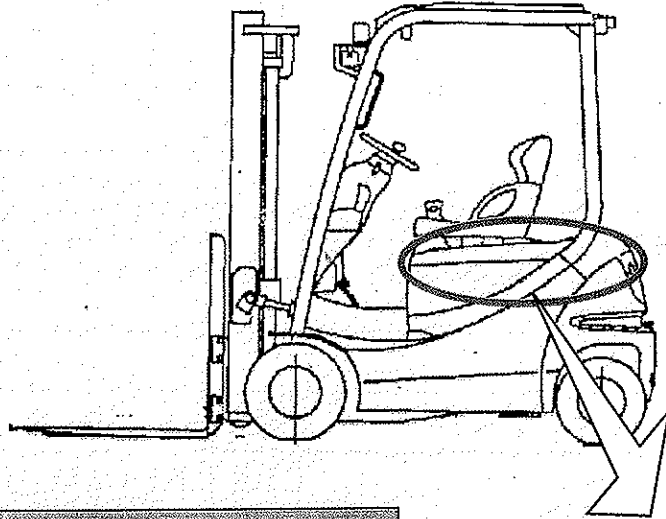
届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月25日	外 1501	車名：モトグツティ 型式：LP 通称名：ルジェGTL 他	6	平成18年12月19日～ 平成19年 8月25日
不具合の部位等	リヤトップケース（荷物ボックス）の固定具の強度が不足しているため、当該固定具が破損し、最悪の場合、リヤトップケースが脱落するおそれがある。			

【参考】平成20年6月のリコール届出総件数

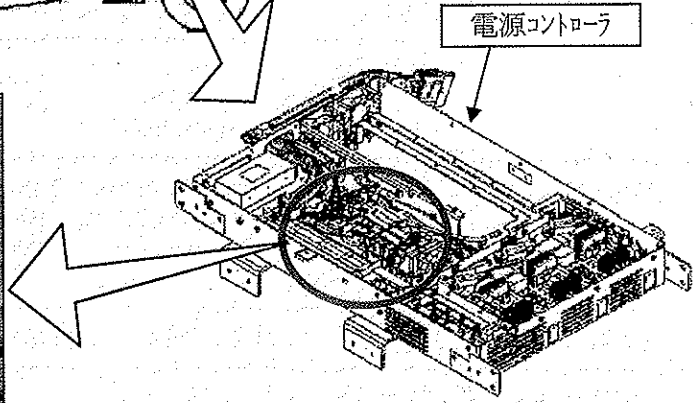
		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	20件	10件	10件
輸入車	9件	7件	2件
計	29件	17件	12件

※リコール届出番号 2123、2124、外 1497 及び 2138 は公表済みのため、本公表には含まれていません。

改善箇所説明図



制御基板拡大写真



電源コントローラ

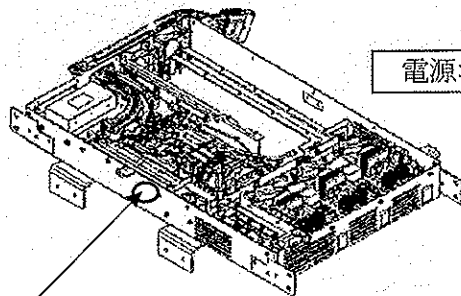
データ転送ケーブル

基準不適合箇所

注：□ は交換部品を示す

電気式フォークリフトにおいて、電源コントローラ内の配線の組付け作業指示が不適切なため、当該配線の接続部が他の配線接続部に接触するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、電源コントローラ内の制御基板の電子部品が破損し、最悪の場合、車両が走行できなくなるおそれがある。

改善の内容
全車両、対策品の電源コントローラに交換する。



電源コントローラ

白色ペイント塗布位置

注：□ は交換部品を示す

識別

電源コントローラ側面に白色ペイントを塗布する。

平成20年7月1日

少数台数のリコール届出の公表について (平成20年6月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成20年6月は12件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：コマツユーティリティ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	輸入期間
6月4日	2127	車名：小松 型式：ZAF-SM236 他 通称名：-	3	平成19年8月1日～ 平成19年10月30日
不具合の部位等	電気式フォークリフトにおいて、電源コントローラ内の配線の組付け作業指示が不適切なため、当該配線の接続部が他の配線接続部に接触するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、電源コントローラ内の制御基板の電子部品が破損し、最悪の場合、車両が走行できなくなるおそれがある。			

2. 届出者：コマツユーティリティ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
6月4日	2129	車名：コマツ 型式：WA001A 他 通称名：WA20-2E 他	41	平成19年8月2日～ 平成19年11月29日
不具合の部位等	作業装置固定用ピン操作レバーの操作位置を表示する操作銘板において異品が貼付されたため、表示の施錠位置にしても実際には解除になっている場合がある。そのため、そのままの状態で使用すると、最悪の場合、作業装置が脱落し走行に支障をきたすおそれがある。			

3. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
6月5日	2120	車名：三菱 型式：KC-MP717K改 他 通称名：ふそうエアスター	78	平成10年10月20日～ 平成15年4月23日
不具合の部位等	CNGエンジンにおいて、排気バルブの耐熱性が不足しているため、バルブが欠損する場合がある。そのため、異音発生、アイドリング不調、出力不足となり、最悪の場合エンジンが停止して再始動出来なくなるおそれがある。			

4. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
6月12日	2132	車名：いすゞ 型式：PJ-CVR52K6 他 通称名：ギガ	39	平成17年10月31日～ 平成19年6月5日
不具合の部位等	VGS（可変翼式）ターボの可変翼を動かす電磁弁の配線が誤っているため、エンジンの作動状態に応じた適正な可変翼位置が得られず、ターボの過給圧が異常に上がる場合がある。この結果、エンジンの耐久寿命が短くなり、エンジン内部が破損するおそれがある。			

5. 届出者：日産ディーゼル工業株式会社

届出月日	届番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月17日	2133	車名：ニッサンディーゼル 型式：ADG-CD4XL 他 通称名：-	32	平成18年 9月 6日～ 平成20年 3月 5日
不具合の部位等	大型ダブルキャブ車において、パワーステアリング配管の形状が不適切なため、ステアリングを最大限度まで切った状態で段差等を通じた場合、タイヤが当該配管と接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、接触部分が損傷し、最悪の場合、オイルが漏れ、ステアリングの操舵力が過大になるおそれがある。			

6. 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月20日	2136	車名：コマツ 型式：HV6000 通称名：HV6000-1	16	平成13年 1月 9日～ 平成19年 3月 7日
不具合の部位等	燃料タンクに備えられている止栓（増設燃焼ヒーター用燃料取り出し口）の締付け力指示が不適切なため、締付け力が不足し燃料が漏れるものがある。			

7. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月24日	2134	車名：三菱 型式：KC-FL618EZ 他 通称名：ふそうファイター	6	平成 7年 6月28日～ 平成10年10月14日
不具合の部位等	4輪駆動車の副変速機用電子制御装置において、速度抑制装置（スピードリミッター）を後付けした際の信号変換器の電源供給回路が不適切なものがある。そのため、キースイッチ操作時に副変速機用電子制御装置に瞬間的な過電流が流れ、その繰返しによって内部回路が損傷し、副変速機、速度抑制装置及び速度計が不作動となるおそれがある。			

8. 届出者：株式会社福田モーター商会

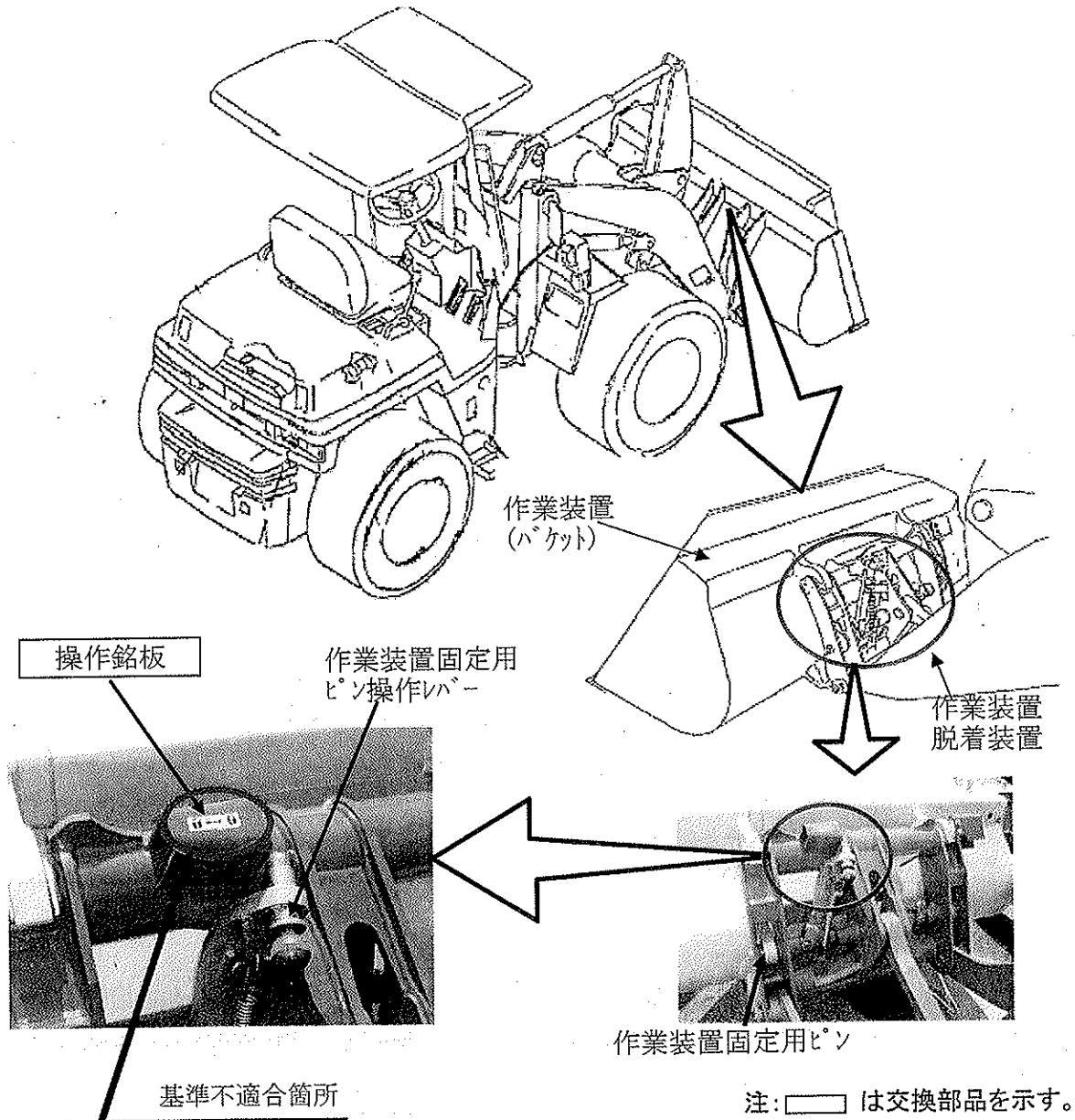
届出月日	届番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月25日	外 1501	車名：モトグッティ 型式：LP 通称名：ノルディックGTL 他	6	平成18年12月19日～ 平成19年 8月25日
不具合の部位等	リヤトップケース（荷物ボックス）の固定具の強度が不足しているため、当該固定具が破損し、最悪の場合、リヤトップケースが脱落するおそれがある。			

【参考】平成20年6月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	20件	10件	10件
輸入車	9件	7件	2件
計	29件	17件	12件

※リコール届出番号 2123、2124、外 1497 及び 2138 は公表済みのため、本公表には含まれていません。

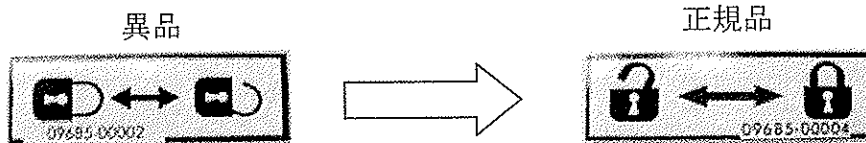
改善箇所説明図



作業装置固定用ピン操作レバーの操作位置を表示する操作銘板において異品が貼付されたため、表示の施錠位置にしても実際には解除になっている場合がある。そのため、そのままの状態で使用すると、最悪の場合、作業装置が脱落し走行に支障をきたすおそれがある。

改善の内容

全車両、貼り付けられている操作銘板を点検し、異品であれば正規品に貼り替える。



識別

正規品であることが目視で識別可能。

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室
TEL 03-5253-8111 内線 42353
アドレス : http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成20年6月6日

リコール届出番号	2124	リコール開始日	平成20年6月9日
届出者の氏名又は名称	TCM株式会社 執行役社長 荒畑 秀夫	問い合わせ先	TCM 建設車両事業部 生産本部 品質保証センター TEL 0297-62-4661
不具合の部位(部品名)	窓ガラス		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	前面ガラス又は側面ガラスに銘板(注意銘板等)を貼付したため道路運送車両の保安基準に適合していない。		
措置の内容	全車両、当該銘板を剥がし、保安基準に適合する位置に貼り直す。		
不具合件数	0件	事故の有無	なし
発見の動機	国土交通省からの指示による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者:電話または直接訪問にて通知する。 ・ 自動車分解整備事業者:全使用者を把握しているため周知のための措置は取らない。 ・ 改善実施済車:キャビン右側面の後方下隅に No. 2124 のステッカーを貼付する。 		

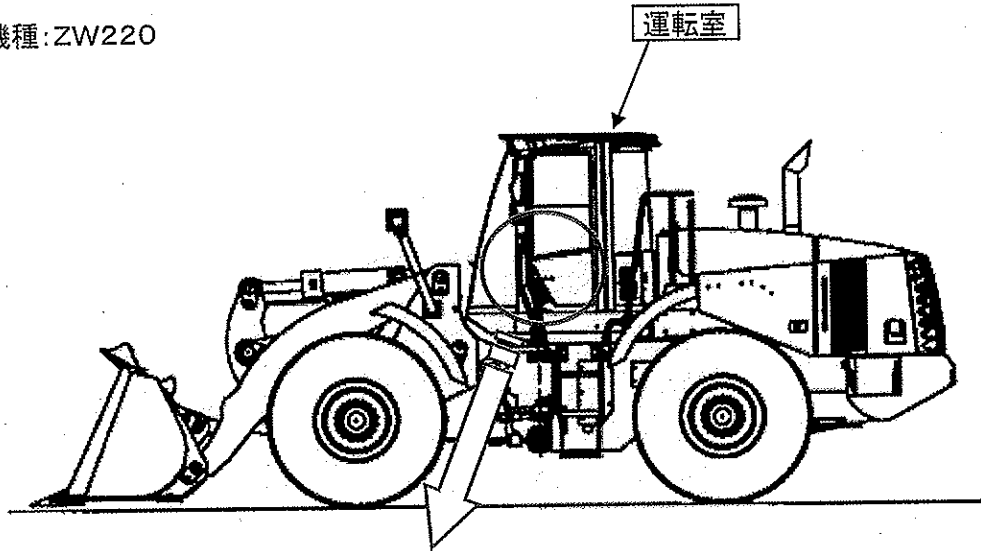
車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲および製作期間	リコール対象車の台数	備考
TCM	JDS-S56	ZW220	S56-05171 ~S56-06163 (平成18年7月19日 ~ 平成19年11月16日)	10	
日立	JDS-HS56	ZW220	HS56-05176 ~HS56-06170 (平成18年8月9日 ~ 平成19年11月3日)	6	
日立	HS50	LX70	S50-02326 (平成16年1月16日)	1	
	(計3型式)	(計2車種)	(製作期間全体の範囲) 平成16年1月16日~平成19年11月16日	(計17台)	

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

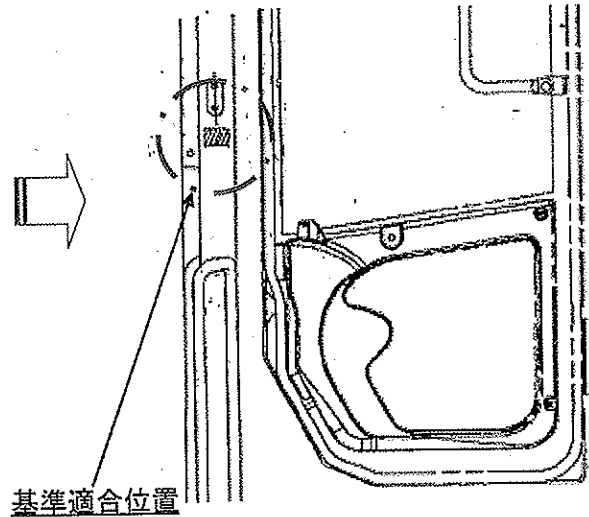
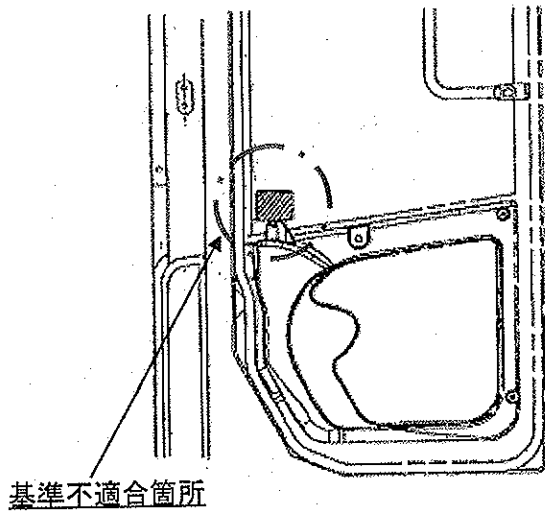
改善箇所説明図

代表機種: ZW220



現状 キャブ内右ドアガラス部

改善後 キャブ内右ドア支柱部

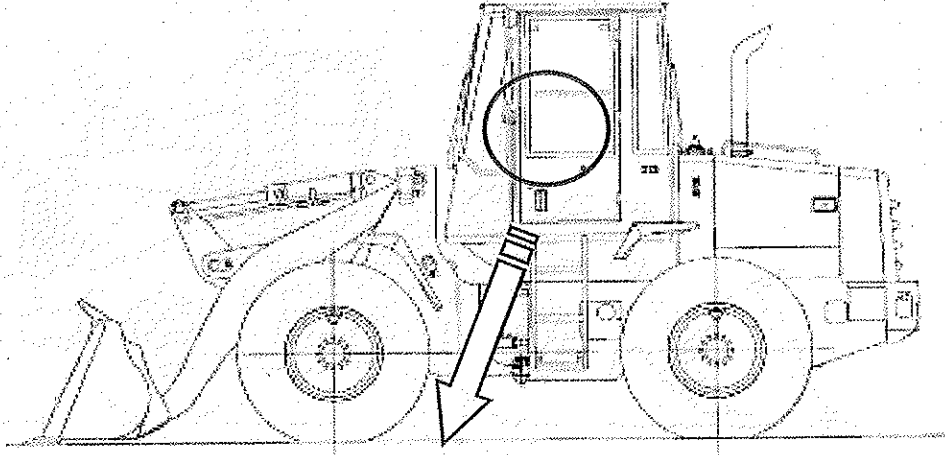


前面ガラス又は側面ガラスに銘板(注意銘板等)を貼付したため道路運送車両の保安基準に適合していない。

改善処置の内容: 全車両、当該銘板を剥がし、保安基準に適合する位置に貼り直す。

識別方法: 外観上、銘板の有無にて容易に識別が可能のため、特別な識別の追加はおこなわない。

HS50(LX70)

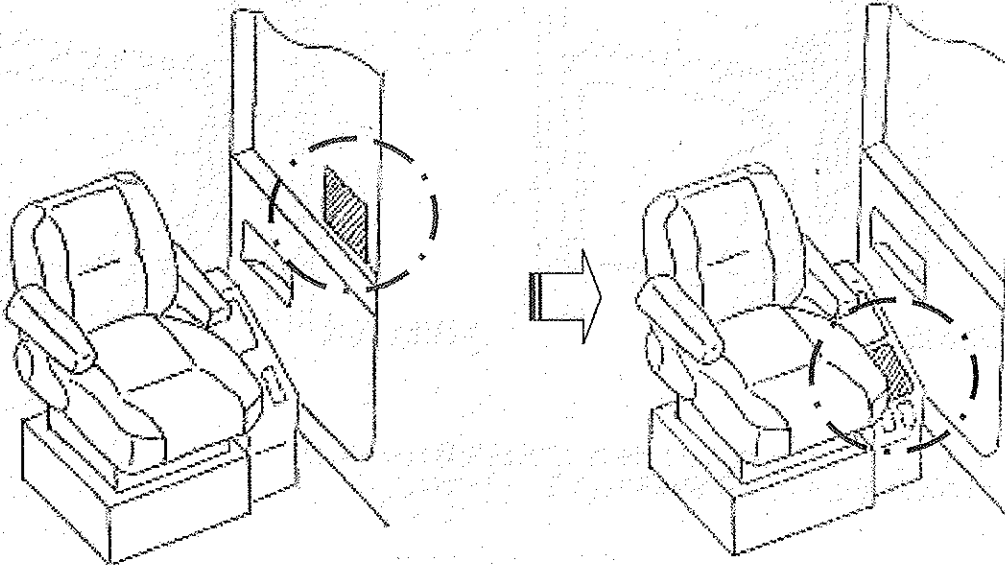


基準不適合箇所

基準適合場所

現状 キャブ内左ドアガラス部

改善後 運転席左カハ一部



連絡先 自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL 03-5253-8111 内線42353
 フォン : <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成20年6月6日

リコール届出番号	2126	リコール開始日	平成20年6月9日
届出者の氏名又は名称	株式会社 加藤製作所 取締役社長 加藤 公康 問い合わせ先：プロダクトサポート部 TEL 03-3458-1122		
不具合の部位(部品名)	窓ガラス		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	前面ガラス又は側面ガラスに銘板（注意銘板等）を貼付したため道路運送車両の保安基準に適合していない。		
改善措置の内容	全車両、当該銘板を剥がし、必要なものは適合する位置に貼り直す。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	国土交通省からの指示による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者：ダイレクトメールまたは直接訪問して通知する。 ・ 自動車分解整備業者：弊社の指定サービス工場に通知する。 ・ 改善措置実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近に「No.2126」のステッカーを貼付する。 		

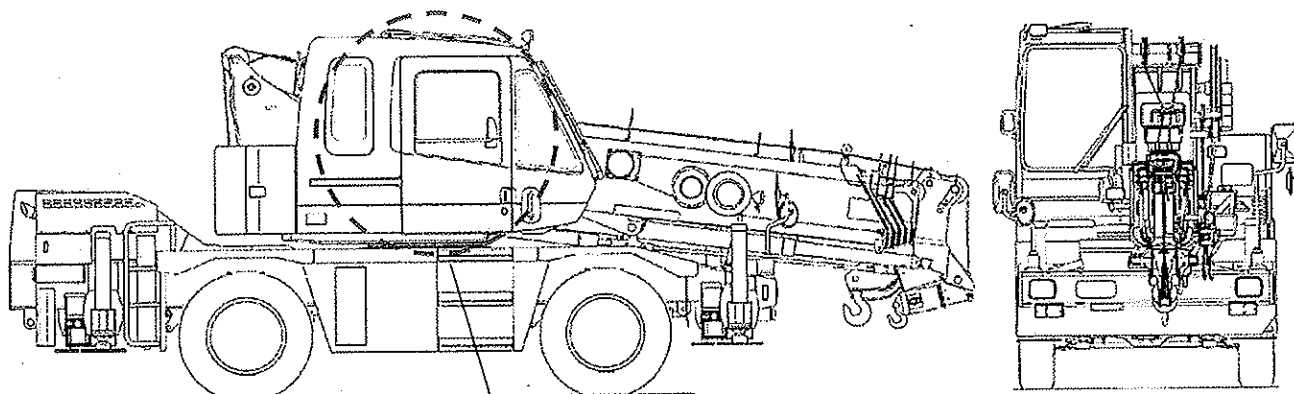
車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
カトウ	KR100	カトウ KR-10H型 ラフター	KR100-0050 ~ KR100-1775 平成3年10月14日~平成8年2月14日	1722台	
カトウ	KR101	カトウ KR-10H型 ラフター	KR101-0051 ~ KR101-0729 平成7年8月21日~平成9年8月7日	675台	
カトウ	KR102	カトウ KR-10H型 ラフター	KR102-0051 ~ KR102-1007 平成9年5月8日~平成15年10月31日	957台	
カトウ	SC- KR130	カトウ KRM-13H (M)型 ラフター	KR130-0053 ~ KR130-1111 平成15年12月11日~平成18年4月17日	539台	
カトウ	SD- KRC001	カトウ KR-20H型 ラフター	KRC001-0051 ~ KRC001-0075 平成16年9月28日~平成18年7月18日	23台	
カトウ	KR203	カトウ KR-22H型 ラフター	KR203-0051 ~ KR203-0275 平成5年12月20日~平成8年11月15日	223台	
カトウ	KR205	カトウ KR-22H型 ラフター	KR205-0051 ~ KR205-0282 平成8年9月11日~平成15年9月30日	232台	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
カトウ	KR248	カトウ KRM-25H型 ラフター	KR248-0052 ~ KR248-0054 平成15年11月21日~平成15年11月28日	3台	
カトウ	SD- KR248	カトウ KRM-25H型 ラフター	KR248-1051 ~ KR248-2007 平成15年1月21日~平成18年4月26日	63台	
カトウ	KR257	カトウ KR-25H型 ラフター	KR257-0051 ~ KR257-0671 平成9年4月10日~平成13年5月14日	621台	
カトウ	KR258	カトウ KR-25H型 ラフター	KR258-0008 ~ KR258-0442 平成12年12月29日~平成16年2月6日	392台	
カトウ	SD- KR258	カトウ KR-25H型 ラフター	KR258-1443 ~ KR258-2114 平成16年2月20日~平成18年4月14日	531台	
カトウ	KR353	カトウ KR-35H型 ラフター	KR353-0008 ~ KR353-0161 平成9年9月29日~平成16年5月18日	111台	
カトウ	KR452	カトウ KR-50H型 ラフター	KR452-0053 ~ KR452-0396 平成7年6月24日~平成9年11月19日	344台	
カトウ	KR500	カトウ KR-50H型 ラフター	KR500-0051 ~ KR500-0336 平成9年1月30日~平成15年12月4日	286台	
カトウ	KR511	カトウ KR-50H型 ラフター	KR511-0053 ~ KR511-0141 平成12年9月1日~平成14年3月26日	89台	
カトウ	KR512	カトウ KR-50H型 ラフター	KR512-0151 ~ KR512-0273 平成13年8月30日~平成16年1月21日	121台	
カトウ	SD- KR512	カトウ KR-50H型 ラフター	KR512-1274 ~ KR512-2023 平成16年1月22日~平成18年4月4日	193台	
カトウ	SD- KRC002	カトウ KR-65H型 ラフター	KRC002-0053 ~ KRC002-0118 平成17年8月17日~平成18年4月10日	66台	
カトウ	KR700	カトウ KR-70H型 ラフター	KR700-0053 ~ KR700-0106 平成9年2月20日~平成10年3月30日	54台	
カトウ	KA5152	—	KA5152-0053 ~ KA5152-0751 平成13年7月31日~平成18年3月7日	38台	
	(計21型式)	(計21車種)	(製作期間全体の範囲) 平成3年10月14日~平成18年7月18日	(計7283台)	

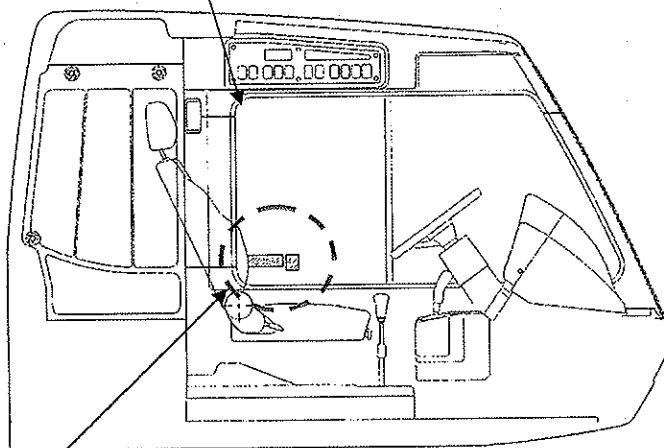
【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図



代表機種：カトウKRM-13H(M)型ラフター



運転室断面図

基準不適合箇所

前面ガラス又は側面ガラスに、銘板（注意銘板等）を貼付したため、道路運送車両の保安基準に適合していない。

改善の内容

全車両、当該銘板を剥がし、必要なものは適合する位置に貼り直す。

識別：外観上、銘板の有無にて容易に識別が可能のため、特別な識別の追加は行わない。

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室

TEL:03-5253-8111 内線42353

アドレス:http://www.mlit.go.jp

13

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成20年6月9日

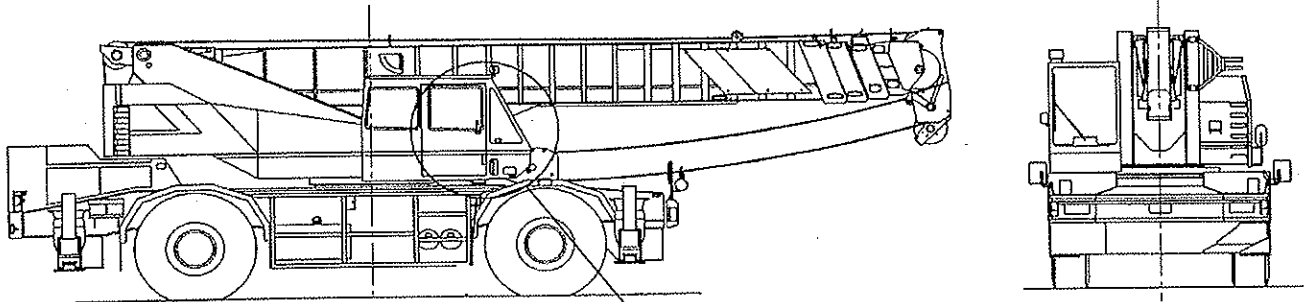
リコール届出番号	2122	リコール開始日	平成20年6月9日
届出者の氏名 又は名称	コベルコクレーン株式会社 問い合わせ先:商品企画部 代表取締役社長 丹野 宣弘 TEL:03-5789-2130		
不具合の部位(部品名)	窓ガラス		
基準不適合状態にある と認める構造、装置又 は性能の状況及びその 原因	前面ガラス又は側面ガラスに銘板(注意銘板等)を貼付したため 道路運送車両の保安基準に適合していない。		
改善措置の内容	全車両、当該銘板を剥がし、必要なものは適合する位置に貼り直す。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	他社リコールの届出情報による。		
自動車使用者及び自 動車分解整備事業者 に周知させるための 措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメールまたは直接訪問にて通知する。 ・自動車分解整備事業者:弊社の指定サービス工場に通知する。 ・改善実施済車には、後面ガラス左下隅にNo2122のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号)の範囲及び 製作期間	リコール対象 車の台数	備考
神鋼	R160	RK160	R160-1104 ~ R160-1151 昭和58年8月11日~平成2年1月16日	48台	
	R200	RK200	R200-1004 ~ R200-1384 昭和58年7月18日~平成5年7月29日	381台	
	R250	RK250	R250-1003 ~ R250-1196 昭和61年1月25日~昭和62年9月29日	191台	
	R252	RK250-2	R252-1001 ~ R252-4454 昭和62年11月18日~平成3年10月24日	2169台	
	R450	RK450	R450-1001 ~ R450-2373 昭和62年11月18日~平成3年10月2日	587台	
	計5型式	計5車種	(製作期間の全体の範囲) 昭和58年7月18日~平成5年7月29日	(計 3376台)	

【注意事項】

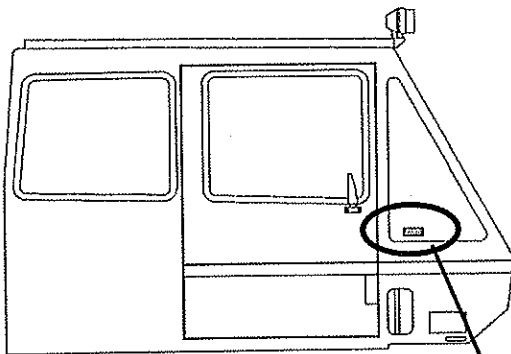
リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図

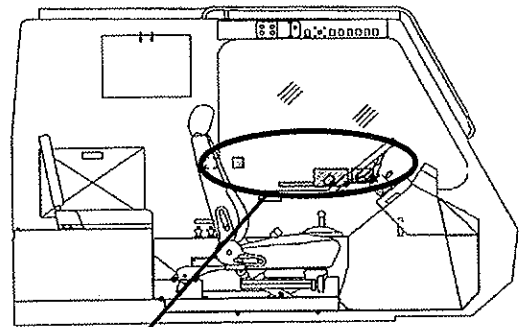


代表機種：RK450

運転者席の両側面ガラス



運転者席右側図



運転者席断面図（左内側を示す）

基準不適合発生箇所

同一不具合車両の型式（機種名）

- ・R160 (RK160)：左側のみ貼付
- ・R200 (RK200)：左側のみ貼付
- ・R250 (RK250)：左側のみ貼付
- ・R252 (RK250-2)：左右に貼付
- ・R450 (RK450)：左右に貼付

不具合の内容

前面ガラス又は側面ガラスに銘板（注意銘板等）を貼付したため、道路運送車両の保安基準に適合していない。

改善の内容

全車両、当該銘板を剥がし、必要なものは適合する位置に貼り直す。

識別：外観上、銘板の有無にて容易に識別が可能のため、特別な識別の追加は行わない。

連絡先:自動車交通局 技術安全部 審査課 リコール対策室
 TEL:03-5253-8111(内線 42-353)
 アドレス:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成20年6月6日

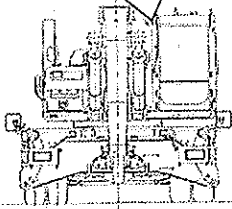
リコール届出番号	2123	リコール開始日	平成20年6月6日
届出者の氏名又は名称	コベルコ建機株式会社 代表取締役社長 島田 博夫 問い合わせ先:品質保証部 TEL082-874-1114		
不具合の部位 (部品名称)	窓ガラス		
基準不適合状態にあると 認める構造、装置又は 性能の状況及びその原因	前面ガラス又は側面ガラスに銘板(注意銘板等)を貼付したため道路運送車両 の保安基準に適合していない。		
改善措置の内容	全車両、当該銘板を剥がし、保安基準に適合する位置に貼り直す。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	他社リコールの届出情報による。		
自動車使用者及び自動車 分解整備業者に周知させ るための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール、または直接訪問して通知する。 ・自動車分解整備業者:使用者を全て把握しているため、周知のための措置はとらない。 ・対策実施車両:対策実施済車には、運転者席ドア開口部のドアストライカー付近に No. 2123 のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び製作期間	リコール 対象車の 台数	備考
神 鋼	SK04W	SK04W	SK04W-0101 ~ SK04W-0499 昭和58年8月1日~平成元年5月26日	10台	
	SK04WD	SK04WD	SK04WD-0228 ~ SK04WD-0702 昭和59年5月1日~平成元年5月30日	20台	
コベルコ	CH01	HK350W	CH01-00001 平成14年7月14日	1台	
	CH02		CH02-01001 ~ CH02-01016 平成15年5月16日~平成17年8月26日	7台	
	(計4型式)	(計3車種)	(製作期間の全体の範囲) (昭和58年8月1日~平成17年8月26日)	(計38台)	

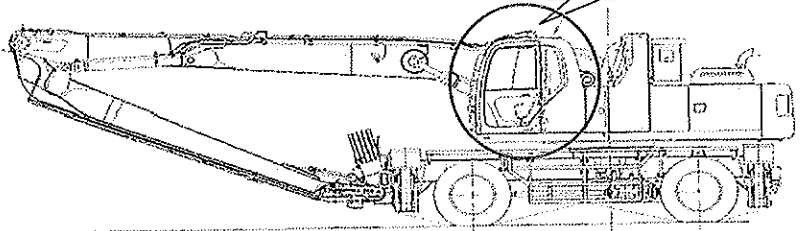
【注意事項】リコール対象者の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図

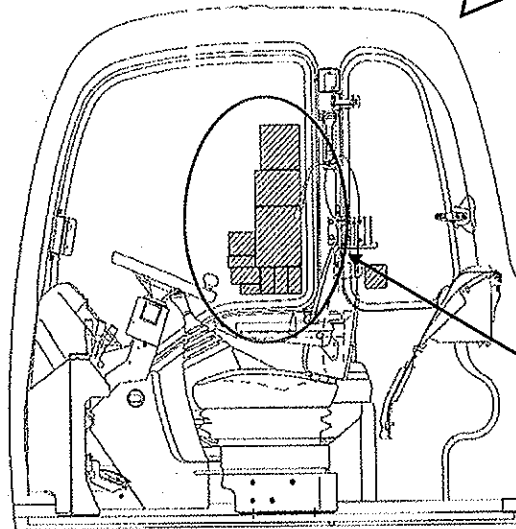
運転者席の右側面ガラス



運転室



代表機種:HK350W



基準不適合発生箇所

運転室断面図

不具合の内容

前面ガラス又は側面ガラスに銘板（注意銘板等）を貼付したため道路運送車両の保安基準に適合していない。

改善の内容

全車両、当該銘板を剥がし、保安基準に適合する位置に貼り直す。

識別：外観上、銘板の有無にて容易に識別が可能のため、特別な識別の追加は行わない。

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL:03-5253-8111 内線 42-353
 URL:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成 20年 6月 6日

リコール届出番号	2125	リコール開始日	平成 20年 6月 6日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 野路 國夫 問い合わせ先:品質保証本部 03-5561-2686		
不適合の部位(部品名)	窓ガラス		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	前面ガラス又は側面ガラスに銘板(注意銘板等)を貼付したため道路運送車両の保安基準に適合していない。		
改善措置の内容	全車両、当該銘板を剥がし、当該銘板の内容を印刷した小冊子に変更する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	国土交通省からの指示による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:電話またはダイレクトメール等により連絡する。 ・自動車分解整備事業者:弊社の指定サービス工場に通知する。 ・対策完了車には、ステッカ(No.2125)をキャブ内側の後部窓左下に貼り付ける。 		

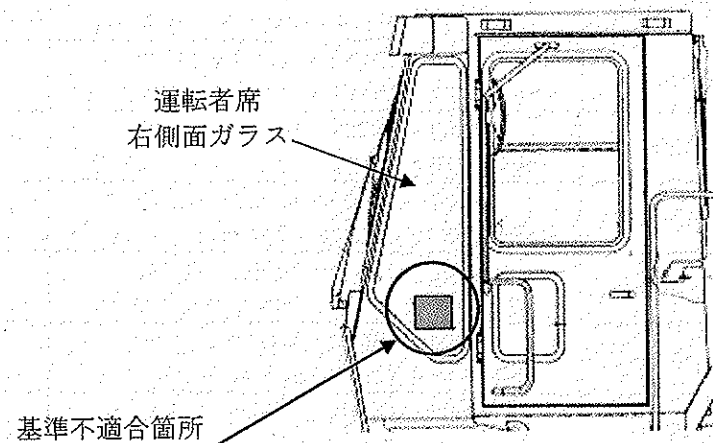
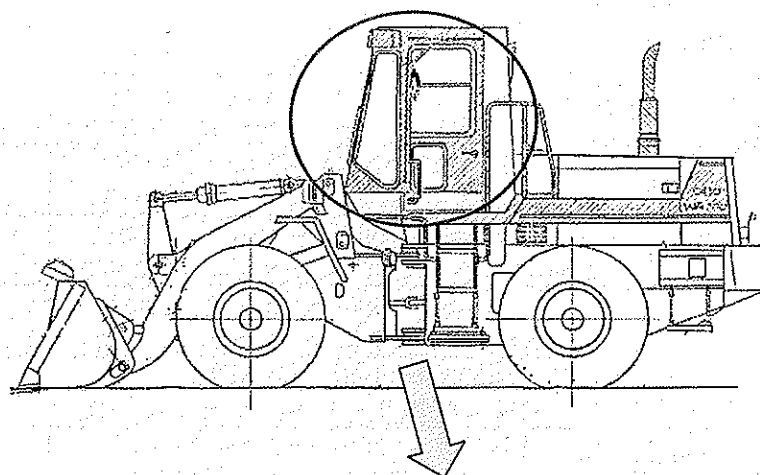
車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
小松	PW201A	PW20-1	PW201-1001~PW201-1406 (昭和61年4月1日~平成4年8月27日)	222台	
	PW301A	PW30-1	PW301-1004~PW301-1771 (昭和62年1月8日~平成6年3月29日)	121台	
	PW601	PW60-1	PW601-1501~PW601-1883 (昭和55年8月18日~平成2年1月1日)	172台	
	PW60N1	PW60N-1	PW60N1-1585~PW60N1-1726 (昭和56年10月31日~昭和60年10月22日)	6台	
	PW603	PW60-3	PW603-2003~PW603-6137 (昭和60年10月28日~平成6年5月20日)	496台	
		PW60S-3	PW603-2088~PW603-2978 (昭和61年5月10日~平成5年11月13日)	37台	
	PW100	PW100-1	PW100-1006~PW100-2919 (昭和55年9月30日~平成3年2月4日)	181台	
	PW1003	PW100-3	PW1003-1213~PW1003-5532 (昭和58年4月30日~平成15年11月29日)	346台	
	PW1003A	PW100-3A	PW1003A-1872~PW1003A-3432 (昭和61年4月29日~平成8年7月5日)	448台	
PW100S-3		PW1003A-1670~PW1003A-5537 (昭和60年6月1日~平成16年8月31日)	195台		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車 の台数	備考
小松	PW100N3	PW100N-3	PW100N3-1762~PW100N3-2496 (昭和61年3月31日~平成7年4月3日)	29台	
		PW100NS-3	PW100N3-1764~PW100N3-2496 (昭和61年1月31日~昭和62年2月26日)	3台	
	PW1501	PW150-1	PW1501-1002~PW1501-1526 (昭和59年6月8日~平成2年10月1日)	18台	
	PW2001	PW200-1	PW2001-10003~PW2001-10203 (昭和61年10月31日~平成15年12月18日)	120台	
小松	LW1601	LW160-1	LW1601-1001~LW1601-1060 (昭和57年9月1日~昭和60年10月31日)	21台	
	LW200L1	LW200L-1	LW200L1-1001~LW200L1-1147 (昭和58年12月1日~昭和61年6月30日)	65台	
	LW250L1	LW250L-1	LW250L1-1001~LW250L1-6117 (昭和60年1月6日~昭和62年10月31日)	115台	
小松 メック	L001	LW250M-2	L001-10001~L001-11041 (平成1年2月1日~平成6年1月28日)	350台	
	W008	WA200-1	W008-10033~W008-30973 (昭和59年12月30日~平成4年12月24日)	1137台	
	W002	WA300-1	W002-10001~W002-32408 (昭和59年8月31日~平成5年7月15日)	1148台	
	W001	WA350-1	W001-10001~W001-53279 (昭和59年10月31日~平成11年3月15日)	918台	
	W003	WA400-1	W003-10001~W003-30434 (昭和59年8月1日~平成3年6月27日)	473台	
	W004	WA450-1	W004-10004~W004-21138 (昭和60年6月3日~平成11年1月21日)	491台	
	W007	WA500-1	W007-10001~W007-21245 (昭和61年5月14日~平成8年7月4日)	369台	
	(計21型式)	(計24車種)	(製作期間の全体の範囲) (昭和55年8月18日~平成16年8月31日)	(計7,481台)	

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図(代表機種:WA200-1の例)



運転者席の右側

〔 前面ガラス又は側面ガラスに銘板(注意銘板等)を貼付したため道路運送車両の保安基準に適合して
いない。 〕

改善措置:全車両、当該銘板を剥がし、当該銘板の内容を印刷した小冊子に変更する。

識別:外観上、銘板の有無にて容易に識別が可能となす、特別な識別の追加はおこなわない。

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL:03-5253-8111 内線 42-353
 URL:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成 20年 6月 6日

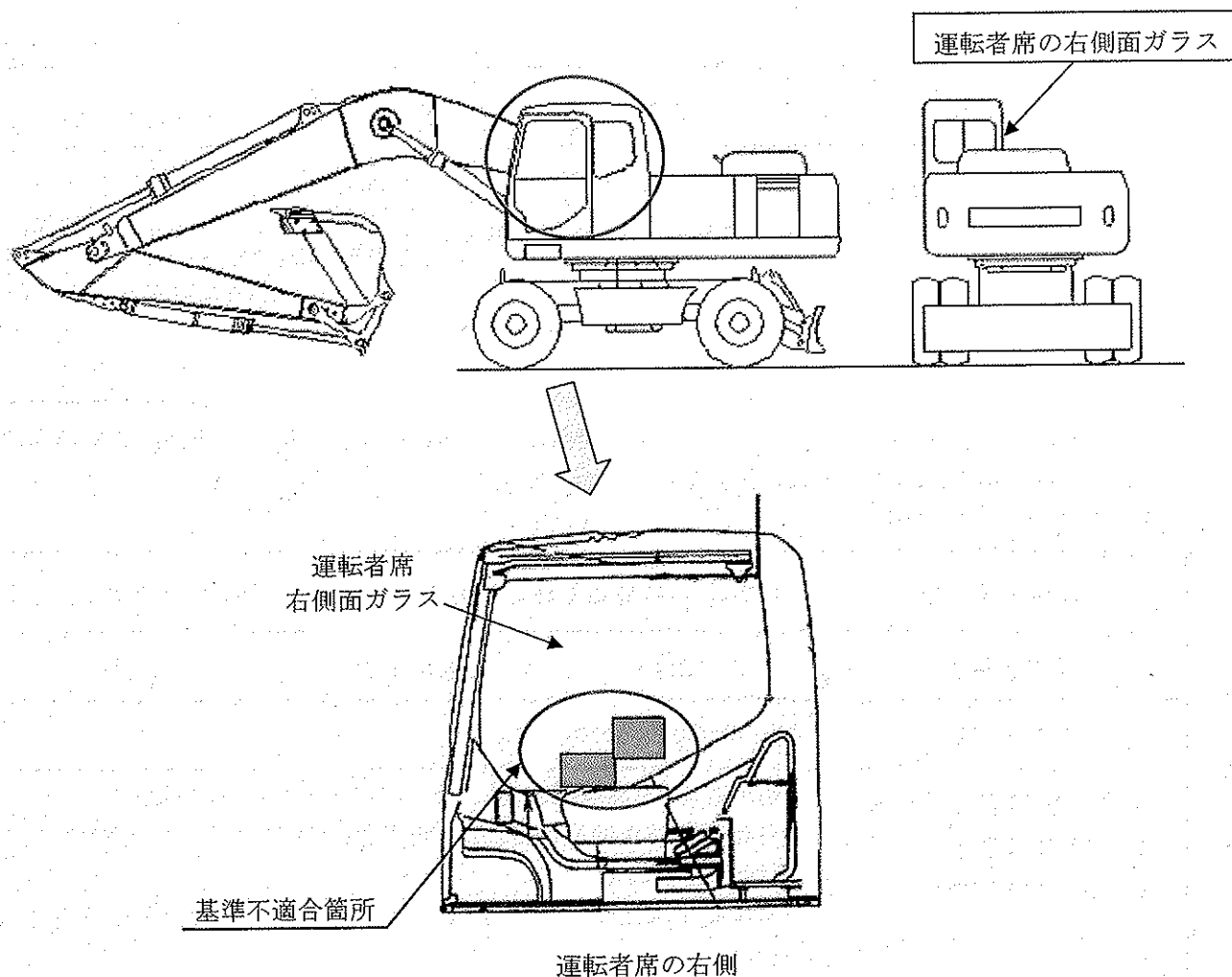
リコール届出番号	外-1497	リコール開始日	平成 20年 6月 6日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 野路 國夫 製作国:イギリス 製作者名:英国コマツ株式会社 問い合わせ先:株式会社 小松製作所 品質保証本部 03-5561-2686		
不適合の部位(部品名)	窓ガラス		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	前面ガラス又は側面ガラスに銘板(注意銘板等)を貼付したため道路運送車両の保安基準に適合していない。		
改善措置の内容	全車両、当該銘板を剥がし、当該銘板の内容を印刷した小冊子に変更する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	国土交通省からの指示による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者には、直接電話またはダイレクトメール等により連絡する。 ・自動車分解整備事業者には、使用者を把握しているため周知のための措置は特にとらない。 ・対策完了車には、ステッカ(No. 外-1497)をキャブ内側の後部窓左下に貼り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
コマツ	不明	PW200-7	KMTPW015P02020001～ KMTPW015A02040207 (平成15年11月7日～平成16年11月29日)	4台	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) (平成15年11月7日～平成16年11月29日)	(計4台)	

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図(PW200-7)



〔 前面ガラス又は側面ガラスに銘板(注意銘板等)を貼付したため道路運送車両の保安基準に適合して
いない。 〕

改善措置:全車両、当該銘板を剥がし、当該銘板の内容を印刷した小冊子に変更する。

識別:外観上、銘板の有無にて容易に識別が可能となす、特別な識別の追加はおこなわない。

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室
TEL: 03-5253-8111 内線 42353
アドレス <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

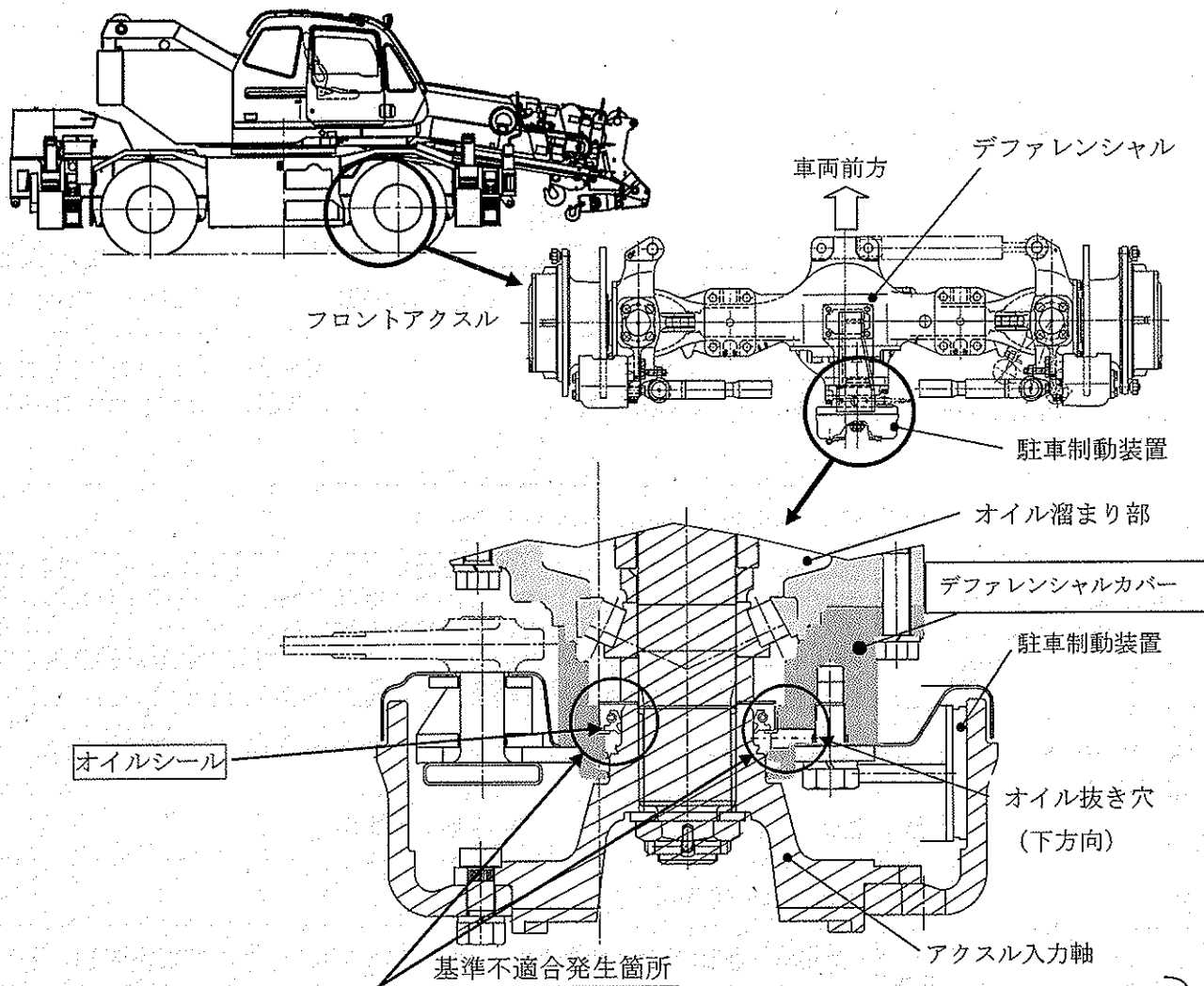
リコール届出日：平成20年 6月24日

リコール届出番号	2139	リコール開始日	平成20年 6月25日
届出者の氏名又は名称	株式会社 タダノ 取締役社長 多田野 宏一	問い合わせ先：品質安全部 TEL (087) 894-7550	
不具合の部位（部品名）	デファレンシャル（オイルシール）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	前車軸のデファレンシャル（差動装置）において、オイルシール（潤滑油用密封ゴム）の耐久性が不足しているため、摩耗が進行し、潤滑油が漏れる場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、デファレンシャルカバーのオイル抜き穴の形状が不適切なため、漏れた潤滑油が駐車制動装置の摩擦面に付着し、最悪の場合、駐車制動力が低下するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該オイルシールとデファレンシャルカバーを対策品に変更する。		
不具合件数	国内：4件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：使用者を直接訪問またはダイレクトメールにて通知する。 ・自動車分解整備事業者：全使用者を把握しているため、周知のための措置は取らない ・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカ付近に No. 2139 のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
タダノ	SD-T002	CREVO160	T002-0001～T002-0299 平成16年7月16日～平成20年6月12日	285台	
		—	T002-0053～T002-0202 平成17年3月8日～平成19年9月28日	5台	
コベルコ	SD-EW04	RK160-5	T002-5001～T002-5032 平成16年12月24日～平成18年3月31日	32台	
	SD-EW05		T002-5033～T002-5095 平成18年3月31日～平成20年5月29日	63台	
	計3型式	計3車種	（製作期間の全体の範囲） 平成16年7月16日～平成20年6月12日	計385台	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図

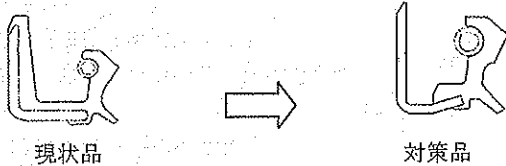


前車軸のデファレンシャル（差動装置）において、オイルシール（潤滑油用密封ゴム）の耐久性が不足しているため、摩耗が進行し、潤滑油が漏れる場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、デファレンシャルカバーのオイル抜き穴の形状が不適切なため、漏れた潤滑油が駐車制動装置の摩擦面に付着し、最悪の場合、駐車制動力が低下するおそれがある。

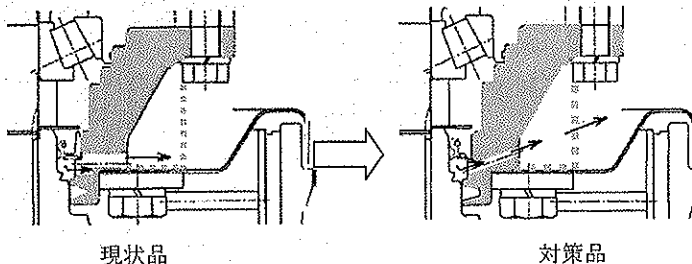
改善措置の内容

全車両、当該オイルシールとデファレンシャルカバーを対策品に変更する。

【オイルシール交換】



【デファレンシャルカバーオイル抜き穴変更】



識別：デフハウジング下面に白色のペイントマークをする。

注： は交換部品を示す。